

# 四国



## We Serve

The International Association Of Lions Clubs

10.11.12 No.2

2008.第64巻 平成20年12月1日発行

ライオンズクラブ国際協会  
336-A地区 地区誌



徳島県鳴門市  
世界初の陶板名画美術館



# 叡智と勇氣・誇りをもって ウイザーズ

2008年～2009年

## ガバナー公式訪問終わる



初冬の候皆様にはお元気でご活躍のことと存じます。今年度は、7月13日第1回キャビネット会議の開催を皮切りに、坂出キャビネットの地区運営が本格的にスタートして早や5ヶ月が過ぎようとしています。

さて、地区ガバナー公式訪問は、7月26日5R（坂出市）より始まり、7月27日4R（高松市）、8月2日1R（松山市）、8月3日2R（四国中央市三島）、8月9日9R（徳島市）、8月10日8R（徳島市）、8月23日6R（四万十町）、8月24日7R（高知市）、8月30日3R（八幡浜市）の順にさせて頂きました。

その節は、暖かい励ましの言葉を頂きました名譽顧問各位、そしてリジョンチェアパーソン・ゾーンチェアパーソン各位はじめ地区委員の皆様、クラブ会長はじめクラブの皆様には、心温まる歓迎のおもてなしを戴き、心より厚く感謝申し上げます。

地区ガバナー公式訪問は、国際会長プログラムとの伝達と奨励することに併せて、私の今年度地区運営基本方針をお伝えしてその推進をお願いする。またクラブの皆様との意見交換ができるような充実した中身のものにしたいと考えて、7月より始め出来るだけ早い時期に地区内を訪問させていただきました。

私は今年度、地区運営基本方針として、年初に12項目をお示しさせていただきましたが、中でも次の3点を最重要項目として推進をお願いしているところであります。

その1は、会員増強で、クラブ純増2名をお願い

その2は、ライオンズ・クエスト・プログラムの推進

その3は、リーダーシップ（指導力育成）研究会の実施であります。

(1) 会員増強は、ライオンズクラブの組織の維持と社会奉仕活動の根幹となるものであり、今年度クラブが目標としている人数を合計しますと、純増530名で内女性会員は125名となっております。目標推進を期待しております。

(2) エクステンションは最大の奉仕活動です。シニアクラブの結成も視野に入れて推進して下さい。LQ（ライオンズ・クエスト・プログラム）は、我が国の次世代を担う青少年の健全な育成をはかる事は私たちの重要な責務であり、これを推進するものであります。



ガバナー公式訪問 阿波観光ホテル・徳島（8R）

今四国四県での取り組みが始まっており、4つのWS（ワークショップ）が計画されております。

9月13・14日（坂出LC）公募型第1回目

10月18・19日（今治サーチングLC）公募型第1回目

12月13・14日（土佐みずきLC）高知学園中等高等学校 校内型第2回目

1月10・11日（鴨島LC）公募型第2回目

このほかにも幾つかのLCでWSの実施に向けて準備を進めておりますが、更なる取り組みを推進して下さるようお願いいたします。

(3) リーダーシップ（指導力育成）研究会は、次代を担う人材の育成、組織の基盤である会員のクオリティを高めることが会員増強、会員維持そして奉仕活動の充実に繋がっていくものです。

5Rでは9月28日に西原透元ガバナー地区名誉顧問を講師にお迎えして5R（坂出市）で開催されました。

今後は各リジョンにおいても開催が予定されております。

公式訪問では、全てのクラブ会長の意見を拝聴させていただきました。

クラブ運営には並々ならぬ情熱と意欲を持って取り組んでおられる熱意が伝わってきて、私は心強く感じました。誠に有り難く深甚なる敬意を表するものであります。

各委員会も、私の地区運営基本方針に沿って活発に活動しております。

メンバー各位の更なるご活躍を期待しております。

2008年11月30日

ライオンズクラブ国際協会336-A地区 地区ガバナー 山地 章靖

## INDEX

表紙 2	ガバナー公式訪問終わる
2	ガバナー公式訪問に同行して
4	ありがとうハガキメッセージ
5	4R・5R合同献血推進研究会
6	ライオンズクエストの理念と概要
8	ライオンズクエスト教育講演会
9	坂出ワークショップ報告
10	今治ワークショップ報告
12	クラブアクティビティ紹介
14	5Rリーダーシップ研修会
15	YEサマーキャンプ
20	2008年夏季派遣YE生よりの感想文
24	四国の特産品（徳島）
26	周年レポート
30	特別寄稿・四国の偉人
32	336-A地区会員現況
表紙 3	物故会員・編集後記



高松国際ホテル・高松市（4R）

7月27日（日）336-A地区4R 23クラブの公式訪問が連日続く酷暑の中、高松国際ホテルにおいて高松ライオンズクラブのホストにより12時30分よりの受付で開始、13時から16時30分と長時間に及び開催されました。

13時丁度、厳肅の中、4R-RC七條章様の先導による地区ガバナー山田章靖様、副地区ガバナー武久一郎様、キャビネット関係の皆様を拍手をもって壇上にお迎えし、ホストクラブ会長神崎様の開会宣言、七條様の開会ゴングにて開始されました。山田ガバナーのご挨拶では去る6月17日より22日迄の5日間、タイ パタヤで恒例の地区

ガバナーエレクトトセミナーを受講し、その後、バンコクに移動して国際大会に出席。仏教国タイならではの実に荘厳な雰囲気の中で挙行され世界一の奉仕団体としての高い評価を受けたライオンズクラブの力強い姿と威容に深い感銘を受けられたとのこと。又、国際会長のお話の中で皆様方は毎日々がヒーローであり、ヒーローと言うのは映画とかいろいろ物語りに出てくる、スーパーマンではなく、地域において毎日々地域の人達の為に行っておるその行為そのものがヒーローなんですよと言ったような非常に格調の高いお話をされたことを述べられておられました。今年度のガバナー基本方針である三つの大きな柱の一つには会員増強、各クラブの純増2名。二つ目には青少年の健全育成。三つ目には指導力の育成、リーダーシップの養成が上げられており、ライオンズクラブは非常にすばらしいプログラムを持っている故、今年度からそれを推進して行くと言った基本方針を解り良く話され、その後質疑応答と4R 23クラブ各会長から今年度の目標と抱負が述べられ、3時間半に及ぶガバナー公式訪問が閉会された。

# ガバナー公式訪問に 4リジョン 同行して

336-A地区 地区誌編集委員  
香川 春一  
(三豊ライオンズクラブ)



J A 四万十会館・四万十町（6R）



三翠園ホテル・高知市（7R）



ホテルグランフォーレ・四国中央市（2 R）



坂出グランドホテル・坂出市（5 R）



阿波観光ホテル・徳島市（9 R）



国際ホテル本館・松山市（1 R）

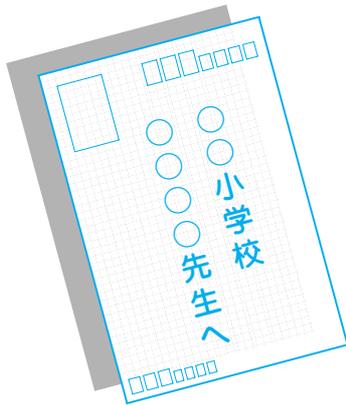


ハーバープラザホテル・八幡浜市（3 R）



# ありがとう ハガキメッセージ

青少年・LCIF・市民奉仕・児童奉仕委員会  
委員長 大川 文彦



携帯電話などIT化が進み、いまの子どもたちは、葉書や手紙をあまり使わなくなっています。このままでは日本の（ふみ文化）がなくなってしまうのではないかと思います。また学校の先生と子どもたちの間でも普段は使わない葉書や手紙を使って感謝の気持ちを伝えるのもいいのではないかと思います。感謝の気持ちを表すことで教室では伝えられない気持ちが伝わるのではないかと思います。

郵便事業株式会社とのタイアップで行いました。夏休み中に生徒から先生に（ありがとう）と感謝とお礼の気持ちを込めた葉書を出し、お返しに先生からその生徒個人に励ましの意味をこめた葉書を返すものです。子どもたちはその葉書を大事にするでしょうし、先生と子どもたちのつながりも強くなるでしょう。

郵便事業株式会社の、宣伝 営業にのっているのでは？ という批判もありますが、昨年の実施状況を聞きますと、先生と葉書を交換してよかったです、よりよく理解できたといういい話もたくさん聞いています。こういういい話を聞きますとこの事業をやってよかったですと思いました。

また今年度は先生だけでなく離れて暮らしている「おじいさん おばあさん」との葉書の交換もいいのでは…とも考えています。

昨年度は葉書の審査に賛同してくれた学校のご理解を得て葉書の審査を行い表彰もしたようですが、これはこの事業にはあわないと思うので郵便事業（株）と相談して今年度は表彰は控えたいです。

今年度の参加クラブは  
336-A地区  
156クラブ中 92クラブ  
8月4日速報値で参加小学校は  
480校  
参加児童数は 34,700名

この事業に取り組んでいただいたライオンズクラブとメンバーの方々にお礼申し上げます。

ありがとうございました。



四国新聞 2008年（平成20年）7月11日（金曜日）



本年度の公募チラシ



# 『4 R・5 R 献血推進研究会』を開催して

4 R 環境保全・保健福祉委員 雪森 民啓  
5 R 環境保全・保健福祉委員 沼田 忍

7月5日(土) 16時より 坂出グランド  
ホテルに於いて、香川県赤十字血液セ  
ンターより7名、ライオンズクラブ関  
係では 地区役員・委員15名、4 R 20  
クラブ37名、5 R 12クラブ25名、合計

32クラブ62名のクラブ会長・担当委員  
会委員長が出席して4 R・5 R合同の  
「献血推進研究会」を開催しました。

3361A地区では、この研究会も他  
県ですすでに実施されており、香川県  
(4 R・5 R)ではまだ開催されて  
なく、新年度の準備のため血液セン  
ターとの打合せに訪問した時この話  
を聞き実施する事にしたものです。

当日、香川県赤十字血液センター所  
長 内田立身さんの「400 ml 献血の  
推進について」、渉外課長細川和治さ  
んの「ライオンズクラブ献血協力状況  
について」の講演を聞きその後、質疑  
応答の時間をとりましたが、各クラブ  
の出席者も熱心に聴講され、献血のあ  
りかた、400 ml 献血の必要性等、専  
門的知識も得て、これからの献血活動  
に大変参考になると共に、このアクテ  
イビティの重要性を痛感されたものと  
思われます。

これを機会に献血活動を大いに推進  
していただきたいと思います。

ただ、各クラブの出席者の方々より  
熱心な質問もでしたが、質疑応答の  
時間が少なく、十分な討議がなされな  
かったのが残念です。次回開催の時に  
は、この件について検討していただき  
たいと思います。

この度の開催に当たり4 R RC七  
条 章様、5 R RC神余孝夫様、各  
ゾーンのZCの皆様方のご尽力に対し  
心よりお礼申し上げます。



# ライオンズクエストの

## 理念と概要

坂出キャビネット地区誌編集委員  
坂出ライオンズクラブ 会長 河津 學

### 困難の中から クエストプログラム創始

一九七五年、二〇歳のアメリカの大学生リック・R・リトルは、クエスト・インターナショナルを設立したのに始まる。

彼は一八歳の時、交通事故によって六カ月の入院を余儀なくされる。それと時を同じくして母親が睡眠薬の過剰摂取によって倒れた。困難が一時に彼の身を襲うが、そんな時、彼が十三年間にわたって学校で教えられたことが問題の対処するのに何一つ役に立たないことに気づいた。困難な状況にどのように対処すべきか。そこから抜け出す方法を考え始めたことが、後のクエスト・インターナショナル設立へとつながっていった。

彼は、自分の問題意識を具体化するために、まず総数二千人にのぼる高校生を対象にしたアンケートを実施した。その結果、青少年が抱えている問題の

多くは「人間関係に関するもの」であるということが明らかになった。すなわち、スムーズな人間関係のつくり方、他人と意見が異なる場合の対処の仕方、人生の意義といった事柄である。それに加えて彼等は「孤独の辛さ」や「自分が好きになれない」といった悩みを回答のなかで訴えていたという。

このような青少年の現状にどう取り組んでいけばいいのか。彼は青少年のためのプログラム作成を思い立った。しかし、そのためには財政的な援助がどうしても必要不可欠である。彼は多くの地元、財団を訪れて青少年の現状とプログラムの意義を説いて回ったが、その反応はおおむね冷淡なものであった。彼が最終的に援助を得ることができたのは百五十六番目に申請したw・k・ケロッグ財団であった。この財団の会長ラス・モービー博士とリトルの電話でのやりとりによると「君の五万五千ドルの融資の件、残念ながら理事会の賛成は得られなかったよ」「そう



ですか」「しかしだね・・・」「はい」「十萬ドルの融資には満場一致で賛成したよ」彼はそれから現在に至るまで、総額一億ドルを超える基金を集めることに成功している。

### クエスト・プログラムの理念

クエスト・インターナショナルの設立の趣旨は青少年が生活し、学び、働き、遊ぶ場において思いやりと責任感を養うことに携わる「大人を支援する活動」を展開する。あえて「大人を支援する」としているのは、家庭、学校地域といった青少年をとりまく環境の構成員である大人が青少年に適切なサポートを与えられるようになることがこのプログラムの一つの目的だからである。その理念は以下の七点にまとめられている。

- 一、青少年はポジティブな可能性を秘めた存在である。
- 二、青少年問題は世界的に優先されるべきである。

三、ライフスキルは、子ども、青少年の成長においてたいへん重要なものである。

四、個人と社会は、それぞれに負うべき責任がある。

五、保護者が、子ども、青少年にとつていちばんの教育者である。

六、世界中の子どもを支援する思いやりを持った大人の存在が必要である。

七、お互いに協力し、助け合っていくことが大切である。

クエスト・プログラムの教材はこれまで三九カ国で二十八万人以上の教員青少年育成関係者に取り上げられ、累計で千四百万人以上の青少年がこのプログラムにかかわっている。

〔ザ・ライオン・2000・7月号〕

### ライオンズ・クエスト・プログラムの概要

#### □プログラムの目的

ライオンズクエスト「思春期のライフスキル教育」プログラムは、青少年の健やかな成長と薬物乱用防止を願って企画された総合的なプログラムで小学校五年生から中学校三年生、十代前半の青少年を対象としている。このプログラムは家庭、学校、地域が連携して、思いやりと誠意のある環境の中で青少年に社会の一員として必要なライフスキルを身につけさせることを目的としている。具体的には次の七点であ



る。

一、家庭、学校、地域が連携して、青少年の健やかな成長を支援する。

二、青少年が、自律心、正しい判断力、責任感、そして他者との共生という前向きな態度を身に付けられるよう支援する。

三、青少年が、家庭、学校、友人関係、地域社会の一員として責任ある行動がとれるよう支援する。

四、青少年が、協力して他の人のために何かをすることによって、良き市民として貢献できる機会を提供する。

五、一人ひとりのちがいを大切に、自分も他の人も大切にすることを奨励する。

六、好ましくないすすめにくく対処し、薬物に関わることなく成長することを支援する。

八、このプログラムの実施に関わる教員、管理職、その他の人々に対し、効果的な教材の提供、指導者研修の実施、継続的支援体制によるバックアップなどを行い、プログラムが円滑に実施できるようサポートする。

### □身につけさせたい九つのスキル

一、自己規律、責任感、自信の形成。  
二、他者との効果的なコミュニケーションと協力。

三、感情や態度の上手な表現の仕方。

四、家族や友人とのよい関係の強化。

五、問題解決や健康的な意思決定。

六、仲間からのよくない誘いや薬物の拒絶。

七、批判的思考力

八、目標設定と計画的な実施。

九、他の人のためにする活動の実施

### □プログラムを構成する五つの要素

一、授業カリキュラム

このプログラムは七十九時間のスキル学習の授業であり以下の七単元とボランティア体験学習・まとめに系統的に配置されている。

単元1：十代の始まり：待ち受ける  
試練

単元2：本当の自信とコミュニケーション  
シヨンスキルの形成

体験学習：身近なボランティア体験  
単元3：心の成長と感情のコントロール

単元4：友人関係の改善

単元5：家族の絆の強化

単元6：薬物に関わらない健康な人  
生

単元7：健康な生活のための目標設定  
まとめ：学習の効果を振り返り、まとめる。

二、保護者の協力

学校内外における保護者の協力が不可欠。宿題を一緒にすること。四回ある保護者会へ出席することに加えて学校の授業にゲストとして直接参加するなど保護者の積極的な関わりを奨励し



鹿屋（鹿児島）ワークショップでの筆者の模擬授業

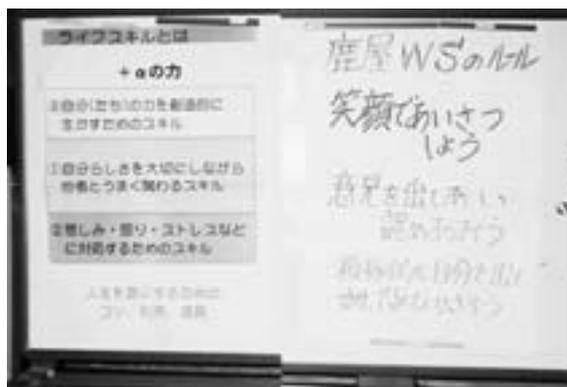
ている。

三、よい学校環境の形成

このプログラムの重要な目的の一つは、学校の雰囲気をもっと前向きにすること。すなわち、学校を青少年や大人が「居たい」と思うような場所にするのである。「明るい学校づくり委員会」の組織の仕方についても記述している。

四、地域との連携

教員や保護者に加えて、ライオンズクラブやその他の社会団体、企業、行政、青少年団体関係者がプログラム指導者対象のワークショップや「明るい



鹿屋ワークショップでの板書

学校づくり委員会」の活動、パネルディスカッション、体験活動、保護者会などに参加することが奨励されている。そうすることで地域の人々の支援を得られるだけでなくプログラムに直接参加してもらうことが可能となる。

五、ワークショップ

このプログラムを効果的に実行するため、すべての指導者はワークショップに参加することが義務づけられている。模擬授業などを実際に行うなどプログラムの概要の紹介、電話相談にも応じてもらえる。

（ザ・ライオンズ2008年7月号より）

## 例會に「ライオンズクエストを導入して」の

## 教育講演會

前高知中央高校長 前田

正也氏を  
講師に招いて

坂出ライオンズクラブでは本年三月にライオンズクエスト特別委員会を設置し、五月に二名を鹿児島鹿屋ワークシヨップ、一名を石川県金沢ワークシヨップ参加者として派遣しました。

そして、六月八日〔日〕高知とさみずきライオンズクラブ結成五周年記念講演会のご案内を高知東ライオンズクラブ所属で高知キャビネット青少年・LCIF・市民奉仕・児童奉仕委員長をされていた北川渉氏からいただき、私はクエスト特別委員長をしていた関係から万難を排して出席した。

この講演会の講師は高知中央高校、前校長、前田正也先生で演題は「ライオンズクエスト・プログラムを導入して…」であった。

そこで、九月のワークシヨップ開催に向けて当メンバーや近隣のメンバーあるいは九月のワークシヨップに教員を派遣しようとしている市内の小中学校の学校長を招いて、見出しにあるような教育講演会を開催することになったようなわけです。

この教育講演會が開催できたのは、

先ほど述べた北川渉氏に負うこと大であった。講師の派遣折衝から当日に來坂されて講師紹介役をしていただいた高知とさみずきライオンズクラブ3代目会長でクエスト委員長をされていた北泰子氏にわたりをつけていただいた。

この講演會への参加者は山地章靖地区ガバナー、武久一郎副地区ガバナーなど坂出キャビネット及び次期徳島キャビネット幹事・副幹事等十五名、坂出市内外の学校長など八名、5Rの各ライオンズクラブ会長等メンバー二十七名、当クラブメンバー三十名、合計八十名であった。

## ■講師プロフィール

講師の前田正也先生は1957〔昭和32〕年生まれで五十歳、中央大学法学部卒業後、台湾に留学し高等教育機関で日本語教育に従事。帰国後、「財」高知国際交流協会プロパー職員、高知医科大学非常勤講師、高知中央高等学校校長を歴任。1997年から高知

希望工程基金会〔国際教育NGO〕会長。〔北 泰子氏の講師紹介より〕

## ■講演要旨

高知中央高校の再生を託されて任期つきの校長に迎えられ、教育改革を宣言。新教育方針を打ちたて文武両道の精神で学校再生を突き進む。

二年後、文武を越えた教育の栄養素を求めていたところ「ライオンズクエスト」に出会い、自らがワークシヨップに参加し、導入を即決。

全国の高校で初めての「ライオンズクエスト」導入校として、昨秋、高知県私学人権教育研修会で発表。公開授業を実施。文武両道+「ライオンズクエスト」の新教育観を提唱〔高知とさみずきライオンズクラブ結成5周年記念誌より引用〕

## ライオンズクエスト特別委員会

坂出ライオンズクラブ 稲田 茂 樹  
ライオンズクエスト委員長

8月20日、ライオンズクエスト特別講演會を、中ライオンズクエスト特別講演會として行ないました。講師は、高知中央高校前校長、前田正也先生です。メンバー山地章靖様はじめライオンズメンバー多数参加していただき、無事終了ことができました。皆様方のご協力ありがとうございます。L・Qへの関心の高さを感じるとともに、ライオンズメンバーの打てば響く連帯感を感じました。5Rの案内での講演の参加、ライオンズクラブの絆を感じました。次回参加の成功を皆様方と次なるステップの成功を皆様方と次上げていきたいと思います。



挨拶する河津坂出ライオンズクラブ会長



講師の話に聞き入る聴講者



## Lions Quest

「思春期のライフスキル教育」プログラム

2008.9/13(土)~14(日)

坂出ワークショップの概要及び

参加しての感想

坂出市立坂出中学校教諭

徳永 千恵子

平成20年9月13日(土)~9月14日(日)に坂出市で開催された標記ワークショップに参加したので、その概要を下記のとおり報告します。

### 1 研修日程

平成20年9月13日(土)

午前・伸ばし合い高め合う集団づくり、

分析とまとめ(今時の若者像)

午後・Lions Questの授業構造(系統的な学習展開方法)

プログラムの内容、高め合い、伸ばし合う学級集団作り

平成20年9月14日(日)

午前・危険行動防止について、模擬授業

準備、模擬授業①

午後・模擬授業②③④



坂出ワークショップでの様子

### 2 参加者

27名(教員19名、保護者等教育関係者3名、ライオンズメンバー5名)申込者29名

### 3 研修内容

(1) ライフスキル・プログラムとは、

青少年が人間関係など日常で体験する様々な困難を上手に乗り越えるために必要なスキルを学び、それらのスキルと関わりのある価値観を身に付け、自尊心(セルフ・エスティーム)の高い人間として成長するのを支援するものである。

(2) ワークショップとは、

本プログラムを効果的に実施するため2日間のワークショップである。その内容は、プログラムの概要・理論的背景の説明、授業体験、実施にあたってのポイント説明、参加者による模擬授業の実施である。

(3) ワークショップ講師

本プログラムの著作権を有するライオンズ国際財団が指定するトレーニングを受けた正規の認定を受けた講師である。ワークショップ講師・篠田 康人 氏

(4) カリキュラム内容

単元1…十代の始まり…待ちうける試験  
単元2…本当の自信とコミュニケーションスキルの形成、身近なボランティア体験学習(模擬授業2)  
単元3…心の成長と感情のコントロール(模擬授業)

単元4…友人関係の改善(模擬授業)

単元5…家族の絆の強化

単元6…薬物に関わらない健康な人生

単元7…健康な生活のための目標設定  
まとめ…学習の効果を振り返り、まとめる

### 4 ライフスキル・プログラム実施のポイント

※ よい雰囲気集団づくりの重要性

スキルとは、やり方が分かっていることができること  
ライフスキルの学習とは、  
どの子にも出会う可能性のある具体的な問題をテーマとし、その対処方法

を学習すること。「心の力を育てる」  
価値観を育てる」

※ よい雰囲気集団で系統的に学ぶことの重要性

「集団」→思いやりがあり、支え合う集団は若者め成長を促し、問題行動の防止に役立つ。

「関係」→人とのつながり、関係は学習を促進する。思いやりのある大人との関係をもつことは、若者を強くする。

「学習過程」→やりがいのある課題があり、脅しのない環境のもとで意味のある学習過程が与えられると若者はよく学ぶ。

「心の力」↓  
自分

(自分のことがわかる 自分の能力、良さ、特性の理解 自己認識力)

(自分をコントロールできる 自己管理能力)

(自分を発揮する 意志決定能力、実行力)

他者に対して  
(他者のことがわかる 集団組織のことがわかる 社会認識力)

(関係をうまく結べる 人間関係形成能力)

自分と他者を常に意識した学習を進めることが大切である。

### 5 感想

○ 講師の先生が丁寧に、わかりやすく指導してくださったので、あつという間の2日間でした。全員参加型のワークショップで、常に円陣の隊形で講義が進められたこともあり、時間が経つにつれて受講者の方々とコミュニケーションが図れ、参加者全体が和気藟々と2日間過ごすことができましたように思います。これは、講師の先生の受容的な雰囲気や、途中の休憩や間の取り方、開場を準備してくださったライオンズクラブの方々や教頭先生のおかげだと思えました。同じ2日間ワークショップを受けるのでも、今回の

ように環境を整えてくださったなかで、受講させていただいたのとそうでないのとでは、効率が違っていると思います。ちょっととしたことですが、そういったところも今回勉強になりました。

○ 具体的な事例や授業場面を想定しての説明や模擬授業を行ったので、とても分かりやすかったです。元気が出る活動(エネジャイザー/アイスブレイキング)などもこれからの授業にすぐに生かすことができるものなので、ぜひ取り入れて授業の活性化を目指したいです。模擬授業では、グループごとに分かれて授業を行ったのですが、準備の時間が短かったのが残念でした。前日くらいに題材など分かっていたら、もう少しグループの方々と話し合いができ、新たな気づきが生まれました。準備をしっかりすること、他者と話すことで、自分の足りないところがよく分かったり、とても参考になりました。

○ これからの子どもたちにとって、ライフスキルは必須の学習であることを実感しました。子どもたちにそれを伝える学習させるために、私たち教員全員がライフスキルとは何か理解し、実践していく必要があるとつくづく思いました。

写真提供 2008(平成20)年9月14日(日)



## Lions Quest「思春期のライフスキル教育」 プログラムワークショップ開催

今治サーチングライオンズクラブ

LQ委員長 藤村邦子

10月18日(土)、19日(日)の2日間、今治サーチングライオンズクラブライオンズクエスト委員会では今治市波方公民館において、念願の『LQワークショップ』を開催いたしました。

本来ならもう少し準備期間を置いても良かったのですが、150名が参加して好評を博した6月25日の『LQ体験

会』を皮切りに、この体験会に参加いただいた教育関係者の方々の「ライオンズクエストについてもっと知りたい」という要望に後押しされて、4ヵ月後の実施となりました。

高知からお越しいただいた336-A地区・北川ライオンズクエスト運営委員長が挨拶の中でおっしゃったように「336-A地区が足並み揃えて、ライオンズクエストに取り組む」ことができるようになったのは、当LQ委員会としても本当に嬉しいかぎりです。

当日の参加者は教職員25名、ライオン4名の計29名。スタッフはLQ委員会のメンバーをはじめ8人が時間差で役割を分担してくれました。

今治サーチングLQとして計画段階から念頭に置いたのが、「地域の子ども達が自立した社会人になるために、学校を核として、私たちができる支援方法を」ということでした。消費型社会かつ情報過多の現代において、子ども達が最も必要としているものは『生きる力』や『社会性』だと思います。



社会を形成していく一員として、身に着けて欲しいものは自立した人間として生きていくためのライフスキルです。その実現のためには、市内の公立小・

中学校を中心に『LQ』を広げていくこと、教職員に『LQ』の理解を深めてもらうことを最優先に考えました。

そのためにプロジェクトチームならぬ『LQ特別委員会』を発足。教員経験者、教育委員経験者、PTA役員経験者等を委員に組み入れ、初代委員長の時代から「まず管理職に理解を得て、

教職員が参加しやすい環境作りをする」という基本方針に、教育委員会や市内の学校を訪問し、ライオンズクエストの説明に力を注ぎました。

おかげさまで2日間のワークショップも無事終了。ロールプレイやブレインストーミングを活用した参加型のワークショップは、学校のみならず、家庭や会社でも充分に応用できる示唆に富んだものでした。後はこのワークショップを嚆矢として、来期に繋いでいきたいと考えて居ります。





## Lions Quest

### 「思春期のライフスキル教育」プログラム

2008・10/18(土)～19(日)

#### 今治ワークショップの概要及び参加しての感想

美須賀中学校 教頭

白川 秀樹

今回参加した受講者のほとんどは「思春期ライフスキル教育」プログラムワークショップというあまり聞き慣れない、しかも2日間という研修に不安を抱いたと思います。私自身もその一人で、6月の事前の研修会に出席しある程度このプログラムの良さは理解していたけれども、実際は参加費だけが高くて内容的に利用価値が低い研修だったらどうしようという不安はありました。しかし、いざ受講してみると時間はあっという間に過ぎてしまい、その内容も非常に充実していました。「やり方がわかって、それができる」単純だけれどもその繰り返し、人間の考えや行動の自信につながることを

身をもって理解することができました。

みんな協力して楽しく学んだことを

これからの学校教育に大いに生かして

いきたいと胸躍らせているのは私だけ

ではないと思います。今回このような

すばらしい研修の機会を与えてくださ

いました関係者各位には本当に感謝の

気持ちでいっぱいです。ありがとうございます

ございました。

櫻井中学校 教諭

渡辺 真理子

最近の子どもたちはすぐキレるといわれることが多い。携帯電話やメール、ブログなど単線的であり考えず返事の速さがそのまま人間関係につながるようである。

そんな今の子どもたちにとって、こ

の2日間研修したライフスキルはとて

も有効であると実感した。少子化によ

って、子どもの社会は限られたものに

なっているように思う。生き方、生きる

すべてを学ぶことは、いまや必然では

ないだろうか。子どもたちがうまくい

きられないのは、ひとえにそれを学ぶ

場が減少したからのように思えてなら

ない。

もちろん、私たち大人にとってもラ

イフスキルは必要である。子どもと共

に学ぶ事で一緒によい生き方、よい未

来につなげていけると考える。

この生き方にとって大切な有効プロ

グラムを是非、学校のカリキュラム、

あるいは地域での学びの中に取り入れ

ていくべきだと思う。

近見中学校 教諭

月原 伸子

第1日目の講義の前は、自分自身構えていた所があったけれど、自己紹介が始まってみると楽しくのめりこんでいる自分がいました。

聞き上手になろう……では、具体的

に実習を行い、相手の話を真剣に聞いて

あげるこの大切さや、コーチング

の手法については、答えはその中にあ

るということを聞き、「なるほど」と

納得しました。

また、グループに分かれ「今時の若

者」についてまとめた授業では、協力を

通して学習することの楽しさも理解

できました。

2日目の模擬授業では、先生役、生徒

役とともに経験し、他チームの授業を

見ることで自分自身に得るものがたく

さんあったのと、自分達のチームで授

業を進める準備では、協力して行えた

と思います。

2日間通して、よい雰囲気の中で研

修ができました。プログラムも具体的

なものがそろっているので、活用しや

すいと思います。学校でもどんどん取

り入れたいと思います。ありがとうございます

ございました。

# クラブアクティビティ紹介

## 南国ライオンズクラブ (7R13Z) —暑い夏編—

今年も、暑い夏がやってきました。昨年は残念ながら天候不順のため中止になった「土佐のまほろば祭り」、今年



20年目ということもあり、地産地消をテーマに会場も吾岡山に変更、天気にも恵まれ8月2日の当日は例年を大きく上回る人出で終日大変な賑わいでした。



メンバーの多くは朝からの準備で、強い真夏の日差しもあり体力的には厳しいものがありますが、南国市を代表する

夏のお祭りを盛り上げるために頑張りました。多くのLILの参加もあり、またブラザークラブの皆さんもたくさんわれわれの出店ブースに来てくださり、ライオンズの友情も深めることが出来ました。祭りの締めは花火でしたが、今年には打ち上げ数も多く、間近で見ると大輪の花に暑さや忙しさの疲れも忘れ見とれてしまいました。「土佐のまほ



20年目を迎えた「土佐のまほろば祭り」

ろば祭り」がこれから多くの市民の皆様にあられる祭りとなるよう、私たち南国ライオンズクラブは今後協力していきたいと思えます。



親子木工教室

8月17日は、本年度11回目の「親子木工教室」を開催しました。小学生の参加者が57名、親子あわせて100名以上の規模での事業となりました。前々日に急に発生した伊豆沖の台風の影響で、当日の天候が心配されましたが、何とかもちこたえてくれ、かえって曇り空で作業しやすい一日となりました。また、今年もホームセンターマルニの皆さんが10名もご参加いただき工具の使い方や指導や電動工具での木材のカットなどをしてくださりました。

午前8時30分に予定通り開会式が行われ、その後参加者の皆さんはそれぞれの場所で作業を始めました。準備万端で設計図を描いてきた子、何をつくるか考えてこなかったのか木ぎれを前に考え込む子、とりあえず木ぎれを組み合わせてみて釘を打ち始める子、熱が入って子どもより一生懸命になる親御さんなど様々ですが、皆それぞれに

与えられた時間で工夫を凝らした作品を作り上げていきました。真っ直ぐにノコギリをひけず少々まった断面も、何度も打ち直した釘のあとも、思った以上に旨くできた箇所も、賞に選ばれたうれしさも、一つ一つが子ども達にとってこの夏の思い出になったことでしょう。半日の親子一緒に作品づくり、そして、その夜は作品を見ながら、今日あったことを一家団欒で楽しく話し合えたのではないのでしょうか。

年々、親子のつながり、子供を持つ家庭と地域の大人達との関係が希薄になりつつありますが、「親子木工教室」は、青少年健全育成のために重要な家庭や地域との絆づくりに大きく貢献できる意義深い事業であり、来年もぜひ開催したいと強く感じました。

今年も、親子のつながり、子供を持つ家庭と地域の大人達との関係が希薄になりつつありますが、「親子木工教室」は、青少年健全育成のために重要な家庭や地域との絆づくりに大きく貢献できる意義深い事業であり、来年もぜひ開催したいと強く感じました。





# 今治くるしまライオンズクラブ (2R・2Z) ー生放送は強い味方ー

幹事 海野尾 良枝

二階建ての赤いロンドンバス。今治市国道沿い大型生鮮市場「さいさいきて屋」の一角にあるそのバスは、コミュニティ放送ラヂオバリバリ(ラヂバリ)がサテライト・スタジオとして設置しています。ドアを開け放送席にスタンバイすると、前にはカフェテラスが広がり人々がくつろいでいる様子が目に入ります。買物客も多く賑わっていて、とても長閑な感じが味わえます。その場所でも毎週水曜日12時50分よりクラブ会報誌と並ぶ「力強い宣伝効果大」でアクティビティの一つである貴重な生放送が始まります。たったの10分間ですが、



ラヂバリでの放送風景

自身はとても濃い充実したものです。

ラヂバリのメインパーソナリティ(通称ハトケンさん)が番組を推し進め、会員が毎週入れ替り出演します。ハトケンさんは、ラヂバリの専属ボランティアを引き受けられています。とても熱心で2004・12・8より続いているこの10分間のドラマを良く覚えていて、アクティビティは勿論、会員のクラブ履歴も、すらすらと話の中で良く出てきます。さすがです。そして彼はアクティビティの応援にも来てくれます。我々にとって素晴らしい存在なのです。だから会員は気を抜く事は出来ませんよね。そこも狙いのひとつでもあります。会員の意識向上につながるのです。リハーサルなしの生放送は、勉強は勿論それなりの知識を再確認して番組に臨みます。そのための努力は全員されていて感心させられます。この事で、改めて今まで成し遂げてきた事の結果は勿論その時の感動までも、克明に蘇がえってきます。生放送だからの特典を発見しました。それは、本音が出てくるのです。それぞれの素直な心で会話をしているのです。この事は会員一人ひとりの皮むけた青年の様な素敵な声でわかります。素晴らしい

でしよう！新入会員のどきどき発言も、とても印象的で入会エピソードや初めてのアクティビティで、感動した事が、ラヂオから聞こえてきた瞬間、即我々の心は充実感で溢れます。PR委員会では、放送内容をHPで聞ける準備をしているところです。楽しみです。先日10月8日、この日は、ウォーキング特別委員会森委員長が担当。『第8回瀬戸内しまなみ海道スリーデーマーチ』のブース出店とコース案内・警備のアクティビティについて。3日間8コースの全会員のタイムテーブル、全国から参加されるウォーカーの方々へのお接待の心得、模擬店の準備・販売など、委員会・市との打合せは、意見を出し合い何度も開かれたこと。当日は、約7900名の登録があり、昨年からは日本マーチングリーグ公式大会となり、より大きな大会になった事。その分、会員が委員会を中心に円滑に業務遂行を心掛けた事等々、「自分に与えられた責任は、皆様のおかげで充分発揮させて頂きました。」との声を明るく弾ませていました。ハトケンさん



純出席100%早朝例会

んどのやり取りの中で出てくる声には、例会では味わえない、違った人間像が伺えます。素晴らしい。

この日、私もスタジオ入り。毎日新聞記事『集めた浄財・銀メダル』ヘレン・ケラー女史を紹介しこの内容を。昨年4月の「木下航志コンサート」での収益金・募金もこれに含まれている事、何より皆様の温かい心で成り立っている事を。そして今日は『世界ライオンズ奉仕デー』であることも。記念日に別の時間を取って下さったハトケンさんに感謝して……。

ところで、一ヶ月前の早朝例会で、スタート地点今治吹揚城周辺の清掃アクティビティを実施し、この日は、なんと結成16年目にして初めての「純出席100%達成」が実現。この事も、番組で、嬉しく報告しました。



第8回しまなみ海道スリーデーマーチ

# 5Rリーダーシップ(指導力育成) 研究会開催によせて

5R-RC 神余 孝夫



菊花薫る清秋の2008年9月28日(日) ホテルセントカテリーナ宇多津において、山地地区ガバナーの地区運営基本方針の柱の一つとして、入会して3年から5年位の会員を対象に、近い将来クラブのリーダーとして付託に應える会員に成長される様、リーダーシップ研究会を開催致しました。

しかし、5R内対象者が大人数となりましたので、研究会運営上の都合により、今回は入会歴5年のメンバー16名を対象の研究会となりました。

当日は初めての試みということで、キャビネット役員、地区の各RC、5R地区役員、地区の各会員、会則・EXT・指導力育成・プロトコール委員及び、次期徳島キャビネットのオブザーバーも含め、総数47名にて盛況裡に開催することができました。

特に山地地区ガバナーのご出席のもと、元地区ガバナー地区常任名誉顧問西原透様を講師に指導力育成についてのセミナーは、すばらしい実りある内

容だったと思います。

今回の研究会をベースとして地区全体のモチベーションとなつて、リーダーシップの重要性を再認識され更なる飛躍を期待して居ります。

終りにこの研究会開催にあたり、ご指導ご協力をいただいた関係皆様方に深甚の敬意を表しましてご報告と致します。



神余RC開会の挨拶



リーダーシップ発表検討会



山地章靖地区ガバナー挨拶



リーダーシップセミナー研究会



講師 元ガバナー名誉顧問 西原 透様



# YEサマーキャンプ

YE・国際協調委員長 豊田 学



YEサマーキャンプを香川県立五色台少年自然センターを宿泊基点として、7月20日から23日まで3泊4日を実施いたしました。参加者は、来日生・A地区8名、B地区8名、レオ2名、YE委員10名、通訳2名、総勢30名です。

7月20日宇多津駅14時集合、大型バスにて五色台へ出発、早速自己紹介をして車内の空気が和やかになりました。頃到着。山地地区ガバナー、石井幹事、森崎会計の出席のもと開村式、少年自然センターより施設利用の説明を受け、各部屋へ。夕食は、全員で食器に配膳しての小学校の給食スタイルです。19時30分からの歓迎ミニライブ。岡林実行委員長ら3名のライブです。最初は、静かに聞いていた来日生も終盤には、手拍子、拍手、笑いと1時間があつと云う間でした。就寝は、通訳とレオをお願いし、委員全員集合して第1日の反省と翌日の打ち合わせ。台湾来日生が体調を崩し様子がおかしいとの報告あり。しばらく様子を見守ることにする。6時30分起床。整理整頓の後7時30

分朝食。問題の来日生は、ホームシックにかかっていたようです。大丈夫とのこと。2日目は、瀬戸内海の多島美を観光する計画です。三豊市粟島でのクルージング、与島フィッシュャーマンズワーフからの瀬戸大橋見学など。海鮮バーベキューの昼食の際、台湾生は焼肉のたれで大丈夫でしたが、ヨーロッパ、アメリカ生は、全然ダメで、よく聞くと塩、コショウならOK。アジを見て、どうして生の魚を焼いて食べるのかと質問される始末。食生活の違いか。15時30分から少年自然センターで手打ちうどんの体験。熟成した生地をグループに分かれ、足踏みをする。棒で延ばす。包丁で切る。初めての体験でしょう。どの顔も笑顔で一杯です。大釜でゆで、水で洗い、冷やうどんの出来上がりです。全員で出来たてのご飯をおにぎりして、今宵の夕食です。300キロの体重で足踏ましたうどんは、チョット硬いです。

3日目。総本山善通寺でお茶会の体験と坂出府中湖でのカヌーの体験です。善通寺赤門に到着すると、5R-2Zの6クラブの会員の出迎えを受け、本堂の参拝と戒壇めぐりの後、客殿にてお茶会です。先生の茶の心、茶道具等の説明を受け、いよいよお手前です。先生の指導よろしく、全員作法通りなんとかお茶を戴く事が出来ました。「茶の心」を会得できたかな。午後府中湖に到着。5R-1Zの6クラブの会員の出迎えを受け、カヌー協会の代表者の指導のもと、湖上に漕ぎだしました。ヨーロッパ生は、何度か体験があった様です。台湾生は、初めての体験で大はしゃぎでした。猛暑の中、テントを張り来日生の為に準備して迎えてくれた会員の皆様に御礼申しあげます。夕食は少年自然センターで肉類でのバーベキューです。塩コショウを忘れずに。1Zの会員の準備のお陰で時間内に食事を終える事が出来ました。来日生全員満足の様子。19時30分よりキャンプファイヤーです。私は、初めての体験で最後の夜を締めくくりたいとの思いでしたが、チョット不安でした。府中湖で坂出白峰の会長にご相談したところ、ベテランのご夫婦がおいでるとの事で急遽ご紹介を戴き指導してくださる事になりました。1時間ほどでしたが炎を中心に先生の日本語で歌う歌を一緒に歌い、飛んだり、輪になったりして、最後に炎を囲んで火が消えるまで炎の音を聞きながら来日生の心が一つにな

る感動を体験する事が出来ました。4日目。栗林公園見学と丸亀オーークラホテルでの336-A、B両地区ガバナーを迎えての開村式、そしてレポート提出です。38度と云う猛暑の毎日、冷房もない宿泊施設で3日間過ごした来日生、元気に開村式でガバナーと記念写真を撮っている光景を見るにつけ全員良く頑張ったなと云う思い一杯です。4日間と短いキャンプではありましたが、来日生同士が相互理解をし、日本の文化を体験することによりホスト家庭での体験の一助と成れば、ライオニズムの推進になると思います。



アメリカ

## ホイットニー・マクレイ

他の国々の人たちと出会え、彼らの文化や日本の文化についても学ぶことができ本当に素晴らしい時間が持てました。すべてが驚くほど素晴らしく、ここでの思い出を一生忘れません。ただ一つ良くなかった点は、とても暑かったことですが、それはしょうがないですね。全体的に見て、ここでの経験は素晴らしく私の人生を変えるようなものでした。ここで得た新しい友人と新しい理解を持って帰りたいと思います。私が気に入った活動はバーベキューとキャンプファイヤーでした。皆がひとつになれた時間でしたから。



アメリカ

## アネース・ガーシア

ライオンズ・プログラムの学生としての1年目は素晴らしかったです。キャンプはわくわくするような冒険でいっぱい、たくさん楽しい思い出ができました。何といてもキャンプファイヤーが一番良かった部分で、周りの人たちとの友情や団結の重要性を教えてくださいました。このことを可能にしてくださった皆さんに感謝したいです。暑かったけど、素晴らしい時間を持つことができました。どうもありがとうございます。

アメリカ

## ステファニー・エンサー

キャンプは本当に楽しかったです。私が気に入った活動はカヌーとキャンプファイヤーでした。キャンプファイヤーでは素晴らしい時間を過ごしました。みんなと会って一緒に日本の文化について学んだりしたのがよかったです。以前よりずっとこの国が理解できるようになったと思います。私の日本旅行で一番の思い出の一つです。



坂出市府中湖でのカヌー体験



力を込めた「さぬきうどん」作りに汗びっしょり!!



オーストリア

## クリストフ・カタル

キャンプは本当に楽しかったです。特にカヌーとキャンプファイヤーが良かったです。ただ夜7時半以降の行事を少し少なくした方がよかったかもしれません。それに朝にシャワーを浴びることができたらありがたかったと思います。全体的にみて、この336-Bユースキャンプでは本当に素晴らしい時間を過ごすことができました。将来もう一度日本を訪問することができたらうれしいと思います。



アメリカ

## トレーシー

私たちは夏季に来たのでとても、とても暑かったです。暑さと部屋の中に入って来た虫のせいで夜眠るのが難しかったです。エアコンや何か虫を追い払う装置を設置することは可能ではなかったでしょうか。それがただ一つの私の不満です。他のすべての活動は素晴らしかったです。五色台で過ごした時間は決して忘れません。ありがとうございます！





「わ・び・さ・び」の心は理解してもらえたかな？



最後のレポート提出

イタリア

## カルメン・リゴリオ

キャンプは大変良かったです。皆さん全員との楽しい時間を過ごすことができました。素晴らしい経験、またとない経験をさせていただきました。四日しかなかったのが残念です。世界中から来た人たちとも友達になれました。日本の文化は大好きです。

いつか戻ってきて皆さんにまた会えたらうれしいと思います。キャンプファイヤーはとても楽しかったです。みんなと一緒に過ごせたのがよかったです。部屋は暑すぎたと思います。醤油は好きじゃないのでごめんなさい。皆さん、本当にありがとうございました。

台湾

## Liu Kuan-Fu 劉 冠甫

Y Eの一員となりました。楽しかったです。今回のサマーキャンプは私にとってたくさんの思い出となったと思います。良い所もあったし悪い所もありました。まずはじめに広い部屋でしたが、蒸し暑い季節なのにクーラーがありませんでした。とても大変でした。食べ物では、朝ごはんの種類も少なかったのでもいつもいっぱい食べられなかったです。旅行の方はわたしたちにとっていろいろと素晴らしい思い出がありました。うどんを作った時は、みんな一生懸命粉を碾きました。カヌーを漕いだ時はみんな興奮したり緊張したりしました。日本の文化の茶道も体験しました。緑茶がちょっと苦かったですけどみんな楽しかったです。キャンプファイヤーの時もみんな楽しく盛り上がり親しくなりました。Y Eの夏のキャンプを担当されたライオンズクラブのみなさまに感謝します。今後もこのサマーキャンプを続けてください。



台湾

Chen.Ting-Yuan  
陳 婷媛

今回、YEサマーキャンプに参加でき、すごくうれしかったです。いろいろな国から集まってきた人たちとも友達になり、本当に楽しかったです。

ライオンズクラブの会員の人たちにはいろいろと準備をしていただいて、心から感謝しました。わたしはキャンプが大好きです。みなさん、お疲れ様でした。

みなさんそうですが、特にライオンズクラブの人たちは親切でした。私たちは日本語が分からなかったのですが、みなさんは笑顔で接してくれました。本当にありがとう…。日本のライオンズクラブはすごかったです。

私にとってYEキャンプはすごく大切な思い出になりました。みなさんありがとう。



総本山善通寺を参拝

台湾

Huang Ting-Wei  
黄 亭維

今回サマーキャンプに参加でき、とてもうれしかったです。いろいろな国の人が参加していました。交流のほうはすこし障害がありましたが、いろんな国の人と友達になれました。うれしかったです。

今回のキャンプはとてもよかったです。でもほんとうに暑かったです。日本の食事と台湾の食事はだいたい同じでした。他の国の人たちもお箸を使っていました。楽しかったです。シャワーはみんなで一緒に浴びました。はずかしかったけど、楽しかったです。そして日本人は本当にきれい好きでした。今回のサマーキャンプはいろいろなことを学びました。他の国の人たちとも仲良くなれました。台湾の友達もできました。これは今回のサマーキャンプでいちばんいいところだったと思います。みなさんによくして頂きました。今回のサマーキャンプはとても充実したものでした。でもこのサマーキャンプに参加して、私はもっと勉強しなければと思いました。そうすれば、日本語でも英語でもみんなと交流ができるからです。

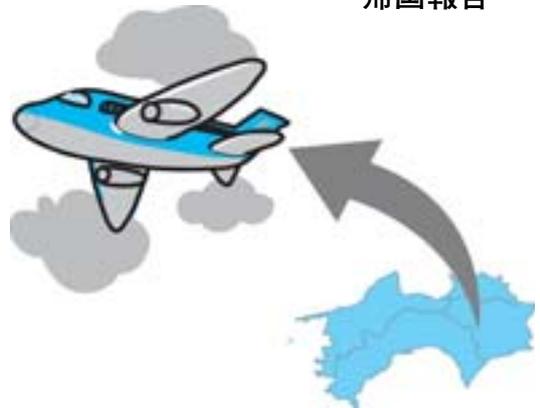
今回のサマーキャンプはとても楽しかったです。もしチャンスがあればまた参加したいです。私達のためにいろいろとしてくれたみなさん、本当にありがとうございました。

# 特集

Youth Exchange  
Home Stay

# レポート ホームステイ

2008年夏季派遣 YE 学生  
帰国報告



## 二度目のYE派遣

大阪大学2回生 大木 香奈

(徳島高野川ライオンズクラブ)

まず始めに、インドへの派遣に際しましてご協力頂いた日本のライオンズクラブの皆様、又、受け入れて下さったインドのライオンズクラブの皆様に深く感謝致します。私がYE生として派遣されたのは今回が二度目で、一度目はアメリカのウエストバールニアでした。当時、私は一七歳。初めてのホームステイということもあり、それまで観光客として見てきたアメリカとの違いに興味がありました。そこで、積極的に家事を手伝うことにより、リアルな日常生活を体験し、又、ホストシスターとは学校生活、友人、恋愛等について語り合うことで、同じ若者として似た感覚を覚え、派遣前に聞いていた文化的差異よりも共通性を強く感じました。

現在、私は二歳。大学でインドの公用語であるヒンディー語と国際関係を専攻していることもあり、世界秩序における国家としてのインド、又そこで実際に営まれている生活といったマクロ・ミクロの両視点からインドを捉えたいと考えていました。しかし、私がインドへ行って実際に得たことは大きく異なります。それは、日本が発展に伴い失いつつあるもの——人との繋がりがでした。核家族化が進む日本に対し、インドでは家族のみならず親戚との繋がりが非常に強く、又、友人も厚くも

てなします。社会においても、文化的価値観を背景として、分業による専門化が図られており、その結果、人を介する機会が多く、利便さの追及による機械化故に社会から孤立しがちな日本人との差異を強く感じました。

アメリカとインド——同じ民主主義国家でありながら、歴史的背景により、両国は異なる文化・価値観を持っています。様々な価値観を持つ国家が存在しつつも、グローバル化が進む世界において、日本が果たすべき役割・プレゼンス向上の一端に寄与すべく、YEPプログラムで得た経験を活かして、残りの大学生活を充実したものにしたと思います。



ムンバイ風景



## オーストラリアで過ごした日々

愛媛電子ビジネス専門学校 加藤 早紀  
(西条ライオンスクラブ)

8月3日、期待と不安を胸にオーストラリアに出発しました。

私が行ったホームステイ先は、ビクトリア州のグロックというところで、メルボルンから北西366キロの位置にあり、人口が200人という、農業中心の小さな田舎でした。郵便局は週一日しか開いておらず、しかも自分で取りに行くというのに驚きました。もちろん携帯も圏外でした。

メルボルン空港にジム・リチャードソンが迎えに来てくれていました。埼玉から来たYE生、佐藤麻莉衣さんがジムのお宅に、そして私は4軒隣のマックス・カーター、ローズマリー夫妻の家に滞在しました。マックスは少し前に仕事を引退され、今はご夫婦で趣味を楽しまれています。滞在中、二つの家を行き来していました。

向こうでの生活は、毎日ライオンズの違う人が迎えに来て、その人の家に行くと、牧場を案内してもらい、一緒にご飯を食べることが多かったです。グロックの人は皆フレンドリーで、とても優しく接してくださいました。牧場や草原、湖は想像を絶するほど雄大で、星空はともきれいで感動しました。世界遺産である



ジム一家とマックス夫妻と共に (左から2人目が筆者)

ナラコート哺乳類化石地域やオペラハウスを訪れることが出来たのも嬉しかったです。今回、異文化での様々な出会いを通して、新しい事を目にし、経験し、学んだことは数えきれないほどあります。言葉の壁があり辛いこともありましたが、それらすべてが、決してお金には代えることの出来ない私の財産です。私はこのホストファミリー、そして麻莉衣さん、グロックの人たちに出会えて本当に良かったです。

ライオンスクラブの皆様や家族のおかげで、貴重な体験が出来、とても嬉しく、感謝の気持ちでいっぱいです。本当にありがとうございました。

## オーストラリアでの生活を終えて

松山大学 加藤水奈美  
(西条ライオンスクラブ)

私は8月3日から28日までオーストラリアに行かせていただきました。私のホームステイ先はビクトリア州のハミルトンという人口一万人のところでした。ホストファミリーのスターンさんとヘレンさん、そして、九州から来たYE生の女の子と四人の生活が始まりました。英語に全く自信がなく不安でしたが、言葉が通じなくても同じ人間、国が違っていても何とかやっていけるなと思いました。

ホストファミリーや現地ライオンズの方



が山や海、牧場などいろいろなところに連れて行ってくれました。向こうは冬で、毎日気温が0度に近かったため、とても寒かったです。そんな中で雨降りの海は、涙が出るくらい辛かったです。それもいい思い出です。

ファミリーのご厚意で、ドイツからきたYE生と会わせていただき、そしてグロックにいる妹に、滞在中二度も会うことができました。

小学校や幼稚園にも行きました。子供たちと一緒に折り紙を折ったり、遊んだり、とても楽しい時間を過ごしました。

家にいるときは、ヘレンさんとお料理を作ったり、クッキーを焼いたり、暇なときは、マフラーを編んだりしていました。

期待に胸を膨らませ、挑戦した海外生活は、想像以上に素晴らしく、内容の濃いものでした。オーストラリアでたくさんの人に出会い、人の温かさやありがたさを感じました。そして、ホストファミリーと日常生活を共にすることで、お互いの生活習慣や文化の違いを知ることができ、自分自身を見つめ直す事ができました。もちろん大変な事も全てが大切な宝物です。今回私にこのような貴重な体験をさせて頂いた事を感謝しています。ライオンスクラブの皆様、YE・国際協調委員会の皆様、本当に有難うございました。

## かけがえのない夏休み

香川県立飯山高等学校二年 西岡 優斗  
(丸亀ライオンズクラブ)



僕はこの夏休み、アメリカでのホームステイを体験して本当に良かったと思います。

初めての海外、しかも一月あまりという長い期間ですが、不思議なことに不安

はあまりなく期待の方がかなり大きかったです。

最初のキャンプでは、いろいろな国の交換留学生たちとの交流はとても勉強になるものでした。各々の国の紹介では、知らないことが多く勉強になりました。僕たちの日本の紹介では、浴衣や甚平が特に気に入ってもらえたようです。最初はコミュニケーションが取れるか心配だったのですが、一緒にするアクティビティやスポーツをするうちにだんだんと通じ合えるようになり、うれしかったです。

そして、いよいよホストファミリーのカーン家でした。最初は思っていることがうまく表現できずに単語やジェスチャーで伝えていました。カーンさんはマイペースで早口の英語でしゃべっていて、聞き取れず困っていると奥さんのジェーンさんが、ゆっくりとわかりやすく伝えてくれ、だんだんと聞き取れるようになりました。また、

僕の誕生日であることを伝えると大きなチョコレートケーキを焼いてくれ、とても感動しました。

二週間の滞在のあと、レオン家へ行きました。レオン家では驚いたことに、よくご飯が出ました。アメリカでの生活でお米が恋しかったので細長く少しパサパサしていましたが、とてもおいしく感じました。奥さんのマリさんが芸術に関心が高く、いろいろな博物館や美術館へ連れて行ってくれたり、そんな毎日を送っているうちに、僕のつたない英会話も少しずつ上達していったと思います。

この経験を活かしてもっといろいろなことを勉強し、次に海外に行くときには、発展途上国へ行き、ボランティア活動をぜひしたいと思っています。このような機会を与えてくださりありがとうございました。



最初のキャンプ地で…

## ホームステイをへて

私立藤井高等学校一年 龜山 貴人  
(丸亀ライオンズクラブ)

アメリカでの生活は最初、本当に忙しく気持ち的にもこれまでにない程余裕がなく本当に毎夜ベッドに横たわるとホッと、あっという間に眠りに落ちていました。しかし頑張った分だけ知識という形で返ってき、自分でもわからない内にアメリカの生活に慣れごく普通に住み始めるようになっていました。たしかに日常生活は日本人と変わらないかもしれない。しかし国民性が違うことにより、一日の過ごし方、物事への接し方、本当に様々なものが違ってきました。これだけ世界がグローバル化しているのです。その中でも一番ショックを受けたのがフレンドリーという点です。ホームステイ先に着くと部屋に案内され荷物を解きます。そこまでは一緒でしょう。しかし、わずか10分程で、一緒に笑いかつたりジョークを言える仲になれるのでしょうか？アメリカに行っていない私には無理だし、ましてやそんな風に接する事など考えられるはずもないでしょう。本当に毎日が有意義で楽しく過ごすことができました。たしかに裏ではどうこう思っていたかもしれませんが、しかし、その事を一切悟られないのもすばらしい事です。日本では直にキモいあのクソだの不快な言葉が聞こえていました。本当に恥ずかしい事です。差別も未だに残っています。



す。しかし、その事をわかって胸を張って生きる人たちは凄いなとも思いました。学びべき所はたくさんありました。

そして帰りざわ。アメリカには一か月いましたが、2軒目のホームステイ先に約10日程しかいませんでした。人間関係でも泣いた事はありませんでした。しかし今までにない程幸せや悲しみ感謝の気持ちが入りまじり初めて泣いてしまいました。今でも涙が出てきます。最後のハグの時や、ハグからさらにギュッと抱きしめられ涙が本当にとまりませんでした。今までの人生の中で一番幸せを実感したと思います。

ここまでフレンドリーだからこそ、ここまで熱く人と接し、おたがいに楽しい日々を、有意義な時間を過ごす事ができるんだなと思いました。

一か月しかいませんでしたが、これからの人生を決めるのにいい体験にもなり、人間的にも成長ができましたし、なにより夢のような時間を過ごす事ができました。

最後になりましたが、ライオンズの皆様、家族。リス・ペクトリップ・シュしてくれた友達、先生方に感謝し終わりたいと思います。

すばらしい経験がありありがとうございました。



しかし、その事を一切悟られないのもすばらしい事です。日本では直にキモいあのクソだの不快な言葉が聞こえていました。本当に恥ずかしい事です。差別も未だに残っています。





## YES・NOの意思表示の重要性

香川県立丸亀高等学校二年 磯崎 麻希

(丸亀ライオンズクラブ)

八月一日から二十九日までの四週間、アメリカのカンサス州オーガスタに滞在した。一面に広がる草原やとうもろこし畑、三百六十度地平線が広がる風景は、まさに日本人が思い描くアメリカの田舎そのものであった。そこで、迎えてくれたハリー、ローレイン・ストックウエル夫妻は、私にたくさんアメリカ生活を体験させてくれた。

普段は、ホストマザーと一緒に近所のスーパーマーケットや郵便局、銀行によく行った。アメリカ人の過ごす日常的な生活を身近に感じる事ができた。そして、一週間のミズリー州フランソンでのサマーバケーションもすばらしかった。

アメリカでの生活で、これをアメリカという事があった。一つ目は、何事に対してもはっきりと「YES・NO」を意思表示することである。毎日何かする時に、いつも、「やるの、やらないの?」と決断を迫られた。最初の一週間は、ほとんど「NO」と答える事ができず、苦手な食べ物をおかわりする、疲れているのに夜遅くまでホストファミリーと映画を見るところがあった。

そんな私のはっきりと意志を示すことができるようになったのは、ホストマザーの言葉のおかげである。「はっきりいっていいのよ。私たちはあなたにNOといわれても嫌だとは思わない。もっとあなたが楽しめるように考えるだけよ。」この一言で、少しずつではあったが、はっきりと「YES・NO」と意思表示をすることができるようになった。そして、今まさに、アメリカで生



ホストファミリーと英会話にての日本紹介

活していることと、日本の常識にとらわれすぎている自分自身に気づかせられた。日本独自の考えをかたくなに守るのではなく、柔軟に現地の習慣に合わせ、楽しむ事が今回の派遣を意味あるものに変える事ができると思い始めた。

もう一つは、やはりホストファミリーとの英会話である。派遣前の私のささやかな自信はどこかに吹っ飛んでしまった。自分の思いをうまく英語で伝える事ができない。ホストファミリーの易しく言い換えた英語と持っていた電子辞書に何度も助けられた。

日本から持参した浴衣や習字、そして香川の名産品「さぬきうどん」を紹介し、大変喜ばれた。すべて記念品として夫妻にプレゼントした。

今回の派遣は、アメリカを深く知り、これまで以上に英語に対する興味・関心を高めるよい機会となった。

ライオンズの皆様大変お世話になり、有り難うございました。

## ホームステイを通して

香川県立丸亀城西高等学校一年 大喜多志穂

(丸亀ライオンズクラブ)



私は7月の中ごろから8月末までの約1カ月半、アメリカのウィスコンシン州にホームステイさせていただきました。

ウィスコンシン州は、牛や牛乳・チーズなどの乳製品が有名で、牧場も多く、とてもどかでのぼのぼとした所です。最初十日間ほどキャンプに行きました。そのキャンプには世界中からさまざまな国の人が来ていました。湖で泳いだり、外や内でのいろいろなゲームをしたり、自分の国の文化を紹介し合ったりと、本当に盛りだくさんの充実した内容でした。このキャンプで思ったことは、みんなとても活動的で、どんどん自分から発言できることです。嫌なことは嫌、良いところは良いとYES・NOをはっきり言う点も日本人とは違っていると思いました。

このキャンプで、積極性と自分の意思をはっきり伝えることの大切さを学びました。自分自身成長できたのではないかと思います。キャンプから帰った後は、ミューラーさん一家のお家にホームステイしました。初めは、相手は何を言っているのか、自分が何を言いたいのかが伝わらなくて困ってしまい、たくさんカルチャーショックも体験しました。しかし、みんな少しも嫌な顔一つせず、私が理解できないことは分かる

まで説明してくれたり、困ったことがあれば助けてくれたりと、まるで私を本当の家族のように接してくれました。

アメリカでミューラーさん一家とともに生活してみて、日本とのさまざまな違いを発見しました。まず初めに私が一番驚いたことは、人や食べ物、服、家や庭など何から何まで全てが大きいことです。次に、宗教です。日本はあまり宗教がらみの文化がありません。しかし、アメリカにはさまざまな宗教があり、そのどれもが日常生活に欠かせないでいて、大事にされています。私は、日米の違いを感じる事が出来ました。

私にこのような素晴らしい体験をさせて下さったライオンズクラブの皆様方に感謝したいと思います。私はこの夏の貴重な体験を決して忘れず、これからの人生に生かしていきたいと思っています。本当にありがとうございました。



サマーキャンプ地での交流

特産品にまつわる特集 徳島

# すだち

9 R - R C C

東條 昭二  
(板野ライオンズクラブ)

徳島県の花「すだちの花」(昭和四九年一〇月四日 指定) は、みかん科に属し、毎年五月中旬ごろ白く小さい花を咲かせます。古くから徳島県に生



徳島県の花「スダチの花」

育し、果実はさわやかな味覚で親しまれ県の特産品となっています。

すだちは、徳島県原産の香酸かんきつであり、ユズの近縁雑種もしくは、偶発実生と推察されてきましたが、近年の遺伝子解析技術の進歩により、母親はユズではなく、ブンタン類の血を引くカンキツであることが明らかになりました。植物分類上は柑橘属、後世柑橘亜属、ユズ区、真正ユズ亜区に位置しています。

すだちとしての記録として最も古いのは、宝永六年(一七〇九) 貝原篤信の著「大和本草」に初めて「リマン」という名称ですだちが説明されています。その後天明九年(一七八〇)に小野蘭山著「大和本草批正」にリマン・一名キズ・一名すだちとして紹介、慶応元年(一八六五) 山中信古著「増訂



南海包譜・下巻」にもすだちの記事があります。リマンの名は、レモンより転訛した呼び名と考えられており、リマンはすだちを指すものとされていますが、キズはすだちとは形質が異なりますが、キズはすだちとは形質が異なり別種であります。「すだち」の異名として漢字では、酸橘、巢立、酢立、酢橘、酢断、などがあてられています。

すだちは徳島県を代表する特産物の一つで「大麻はん(鳴門市大麻町板東から見える(大麻山)のこと)が見えん所では、すだちはつくれん」と言われてきました。現在の主な産地は徳島

かんきつ類の果皮の香気成分はテルペン系炭化水素が主であるがそれ以外

県名西郡神山町や佐那河内村であります。徳島県名西郡神山町鬼籠野・橋本純一氏のすだち園には推定樹齢二〇〇年余の古木が現存しています。徳島県

すだち(スダチ)の生産量が日本一で栽培面積、生産量共に全国の九七%のシェアを誇っております。その中でも特に生産量が多いのが、徳島県名西郡神山町です。神山町の山間部に位置し、一日の寒暖の差が激しいという気候条件がおいしいすだちを育てているそうです。

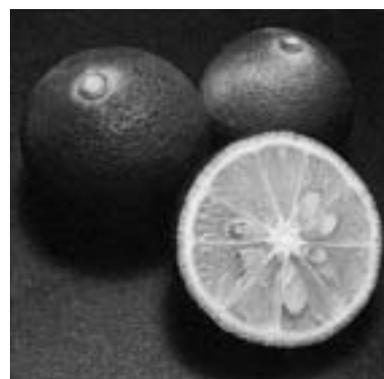
## すだちの成分特性と使い方

すだち固有の香気を及ぼす成分として果皮から二種のフラボンが発見され



200年の古木 神山長寿すだち

「スタチチン」「メデトキシスタチチン」と命名されました。糖含量は温州みかんに比べると非常に少なく酸含量は高いことが特徴です。すだちはアルカリ性食品であり、クエン酸が多く含まれビタミンCがたっぷりふくまれています。私達の身体は弱アルカリ性に保たれている時が最も健康な状態です。弱アルカリ性に保つにはこの種の酢を多く取ると効果があります。クエン酸は体内の新陳代謝を盛んにし、老廃物を排泄し、血液を新しくする効果があり、人間は自分自身ではビタミンCをつくることができないため、食物や薬として必ず摂取しなければなりません。すだちの果汁や果皮の中にはクエン酸、ビタミンCがたっぷり含まれています。



スタチの果実

二〇〇六年には徳島大学の研究チームがスタチの絞りかすに血糖値の上昇を抑える効果があると発表しました。慢性糖尿病の状態にしたラットに絞りがすの粉末を与えたところ改善の効果があつたことがわかりました。この結果が完全に実証されて実用化されれば、すだちには糖尿病の治療にも一役買うことになりそうです。すだちの使い方としては搾って使う、擦って使う、方法があります。すだちを横二つ切にして（刺身、焼き魚、豆腐料理等）搾りかけます、またよく水洗いしたすだちを皮のまま擦り、つけ汁に加えたりわさびに混ぜて使います。加工品としてすだち酢、すだちぼん酢、すだち味噌、すだち胡椒、すだちマーマレ



すだちくん

## Profile

とうじょうしょうじ  
東條 昭二

1941年4月24日生

東條商事(株) 取締役会長

【ライオンズ経歴】

1989年 1月 入会

1989年 クラブ理事

1995年 クラブ会計

1999年 クラブ第二副会長

2000年 クラブ第一副会長

2001年 クラブ会長

2004年 336-A7RPRライオンズ情報委員

2005年 336-A7R1Z-ZC

2006年 クラブ幹事

2007年 クラブ会員理事

2008年 336-A地区 9R-RC



参考資料  
すだち——徳島の特産——  
監修・徳島県果樹指導班  
発行・徳島県農林水産部生産流通課  
徳島県県庁

ード、すだちジュース、すだち焼酎、すだち酎などがあります。最近では、一九九三年に開催された東四国国体においてすだちをモチーフにしたマスコット「すだちくん」が登場しました。第一回ゆるキャラ大賞・山田五郎賞（審査員特別賞）も受賞しているにもかかわらず人気ものです。二〇〇四年五月二日には人気テレビ番組「笑っていいとも！」にも登場しています。

## ●緑の宝玉、すだちのパワー

レモンと比べて、カルシウム、カリウム、ビタミンA(カロテン)が豊富。

すだち VS レモン成分比較表 ●可食部100g 当たり (五訂食品成分表より抜粋)

成分	すだち果実	すだち果皮	レモン果汁	レモン全果
たんぱく質 (g)	0.5	1.8	0.4	0.9
食物繊維(総量) (g)	0.1	10.1	Tr	4.9
カルシウム (mg)	16	150	7	67
カリウム (mg)	140	290	100	130
鉄 (mg)	0.2	0.4	0.1	0.2
ビタミンA(カロテン)(μg)	Tr	520	6	26
ビタミンE (mg)	0.3	5.3	0.1	1.6
ビタミンC (mg)	40	110	50	100

※ Tr (トレース) は、含まれているが食品成分表の最小記載量に達していないことを示す。

## 高松南ライオンズクラブ (4R-1Z)

## 結成35年記念に寄せて

35周年大会委員長 数内 和雄

我が高松南ライオンズクラブは1973年10月27日、高松東ライオンズクラブのスポンサーによりまして、日本で第1775番目のクラブとして産声を上げました。以来キャビネット、親クラブ、姉妹クラブ等のご支援を頂き、栄えある35年目を迎えることが出来ました。

そして今日(10月5日)行政側から高木県副知事、大西高松市長を始め多くのクラブ関係者の臨席を賜り厳粛な祝典が出来ました。ここに誌面を借りて、御礼を申し上げます。

さて、我がクラブのモットーは創立当初から「キープグリーン」「青少年健全育成」そして「奉仕」を旨に今日まで三十五年間、諸先輩の御意見に耳を傾けながら、クラブの有り様なども模索して参りました。

特にキープグリーンの看板は外見的に、地味な活動で、ややともしるとクラブ員全体の賛同が得られない時期もありました。しかしこの精神は発足当時の信念を変更すべきでないとの声があり今日に到っているからです。

その結果が今では世界規模の声となっている地球温暖化防止の啓蒙運動にも役立つ環境整備に貢献していると自負しています。

そして、現在当クラブが十余年前から継続して取り組んでいる、高松空港、こども国「東ウイングエリア」へ今年もキープグリーンの合言葉の下、子供の緑化思想の普及と共に、憩いの場を考慮した「県木のオリーブ」の植樹を行いました。

その他青少年の健全育成の意味もあり、市内の小、中学校生を対象に「平和ポスター」展を毎年開催し、高松市役所ロビー等に展示、多くの有識者から賛意を頂戴しております。又、三十五年周年を機会に初めての試みアクティビティとして、現在四国四県が取り組んでいる「四国八十八ヶ所霊場札所」の世界遺産指定を側面から応援すべく、お遍路さんの道しるべ看板の設置等にも目を向けています。

しかし残念ながら、35年のクラブ歴史は高年齢と共に会員数の減少を招き、正直会の活力の衰えは否めないものがあります。これから40年、45年の記念日には如何あるべきか問われている。願わくば活気ある奉仕の心を抱く若者の入会を期待したい。そう願いつつ投稿を終えることにしました。



四国80番札所讃岐国分寺の参道の脇に「歩きへんろさんへ」の看板設置

## 三木さめきライオンズクラブ (4R-3Z)

## 結成20周年記念家族例会

会長 西丸 一明

とにかく楽しんで WE SERVE

わがクラブは、スポンサークラブの長尾ライオンズクラブの結成25周年の記念事業として誕生し、ここに満20年を迎えることができました。

式典よりは会員同士(奥さんと一緒)が喜び合い、ライオンズクラブの崇高な理念を再認識し、通常の例会を通して、ライオンズ精神を見直す機会にしたい、との私の希望で、「家族例会」としました。

アットホーム的な例会だったね、と参加者の方々からの感想をお聞きし、お世辞とはいえ、少し安堵いたしました。

私は、あいさつの中で次の事を訴えました。

今年の4月に高知で開催された年次大会でのあいさつの中の「世界では、ライオンズの崇高な理念と奉仕活動が評価され、世界最大の奉仕団体として高い評価を受けているにもかかわらず、私たちの会員の中での評価が低いのが残念である」との言葉を紹介し、これからは目の先の会内の人間関係だけにとらわれることなく、もっとライオンズ理念に自信を持って、行動していこうと。

例会運営では、会歴の長短や会社規模の大小で左右されるのではなく、皆思いやりの精神で支え合うべきである。

また、特に奥さんにはライオンズ活動を理解してもらおう機会を多く作っています。更なる発展を願う閉会ゴングが、会場に響き渡って記念すべき家族例会を無事終えることができました。



結成20周年記念家族例会 10月19日(日) 於 ヴィラ讃岐



## 高知中央ライオンズクラブ (7R-2Z)

# 35周年記念式典の報告

式典実行委員長 松岡 紀雄



2008年10月12日(日)高知新阪急ホテルにて、記念式典及び懇親会を開催いたしました。当クラブは、1973年10月7日高知黒潮、南国の両ライオンズクラブをスポンサーとして誕生以来、「青少年に愛と希望を」をテーマとして様々な活動に取り組んでまいりましたが、現在も継続アクティビティとして、ミニバスケットボール大会と高知市少年少女育成剣道大会を行っています。さて、式典の運営に当り気を使ったのは、予定時間内に収める事とプロトコールに間違いのないように気配りすることでした。来賓、来客の席順や記念誌への掲載順序、国旗、クラブ旗の掲げ方等、先輩ライオンに指導を受け一つ一つ確認を行いました。一方、予定時間については、二度のリハーサルを行ったにも拘らず多少の不安を持ちながらの本番となりました。そんな私の不安をよそにプログラム通り粛々と進行し、予定時間の20秒前に記念式典が終了し安堵致しました。小谷、金子両司会とプロジェクトを操作しながらタイムキーパーを務めてくれた泉第一副会長に深く感謝致します。

主な記念事業として、通所更生施設「涅槃の家」へ送迎用ワンボックスカーを1台、高知県立盲学校へ点字テブラ、拡大地図、視覚障害者を安全に誘導する手引きブック5,000部、姉妹クラブ(熊本中央、岡山中央LC)との合同アクティビティとして、高知市中央公園に7人掛けベンチ一基を寄贈致しました。この中でも手引きブックは、費用対効果の面から見て良きアクティビティであると自負しておりますので、ぜひ目を通して頂くようお願い致します。

式典終了後は、祝宴に移り、アトラクションとしてお餅突きをご覧頂きました。私の子供の頃は暮の風物詩として見かけたものでしたが、形を変えて日本人の郷愁をさそうビジネスとして企画した人物はなかなかの知恵者であると、感心しながら見とれておりました。宴も次第に盛り上がり、あっちこっちに歓談される幾つかの輪が出来て周年を祝って頂きました。最後になりましたが、ご来賓頂きましたガバナーを始めご来賓の方々、スポンサー、ブラザー、姉妹クラブの皆様方に、心より御礼を申し上げます。35周年記念の報告と致します。

## 伊予吉田ライオンズクラブ (3R-3Z)

# 45周年記念例会

幹事 山田 二三男

伊予吉田ライオンズクラブは結成四十五周年を迎え、去る十月十九日(日)記念例会を開催いたしました。当日は秋晴れのすばらしい天気恵まれ3Rリジョンチェアパーソン 平家健次郎氏、3Zゾーンチェアパーソン 渡辺知彦氏、ゾーン地区委員 清家祥一氏、近隣の3R3ゾーンから宇和島LC、宇和島中央LC、南宇和LC、鬼北LC、津島LC、そして交流例会訪問として内子LC、八幡浜LCの二クラブの参加をいただき午前十一時例会の開催。平家リジョンチェアパーソンのご祝辞を頂き井上会長による四十五年の歩みと記念事業の発表、CSFIIへ献金の目録贈呈、我が伊予吉田ライオンズクラブが永年に亘り継続実施しております最もおきなイベントである広島吉田中学校と愛媛吉田中学校とのスポーツ交流事業の継続実施、年間三回行う献血推進、交通茶屋、年末に福祉施設の子供たちとの交流餅つき大会、町内小・中学校への図書券の贈呈などが発表され吉田小学校三年生 清家優花さんが図書券贈呈のお礼にと、よく通る可愛い声で読書感想文を発表していただきました。例会終了後会場を移しホールに於いて愛媛県立吉田高等学校吹奏楽部によるアトラクションのドリル演奏。統一された見事な演技を披露。一般の方々の見物もあり盛んな拍手をうけていました。演奏終了後、部活動奨励金目録の贈呈を行いました。祝賀会は渡辺知彦3Zゾーンチェアパーソンから乾杯の御発声をいただき各クラブ入り交り本当に楽しい会になりましたが午後二時、清家祥一地区役員のローアで締めていただき散会となりました。

平成二十年十月二十五日



吉田高等学校吹奏楽部ドリル演奏

## 東予ライオンズクラブ（2R-4Z）

## 45周年を迎えて

会長 田邊 重義

私共東予ライオンズクラブは、今年45周年を迎えることとなりました。顧りみまずと、私共のクラブは1964年（昭和39年）1月18日、西条ライオンズクラブのスポンサーにより、壬生川ライオンズクラブとして結成されました。1972年（昭和47年）に東予ライオンズクラブと改名し現在に至っております。ここまでこれらしたのも関係各位の皆様への、深いご理解とご協力があつてこそと感謝し、お礼申し上げます。

本年度の私のスローガンを「原点に帰り、一致団結 ウィンサーブ」とさせていただきます。現在私たちは、先の予測の非常に困難な、又、想像を絶する事件が多発するなど、厳しい社会環境の嵐の真つ只中におりますが、チャーターメンバーのご苦勞、熱き想いを回帰し、「ライオンズとは、奉仕とは」の原点に立ち返り、先人の意志をしつかりと受け継ぎ、私共ライオンズクラブの出来ること、やらなくてはいけないことを、正確に判断し、少しでも多く社会貢献出来る様、又、未来に継承してゆけるよう、一層努力、精進してゆきたいと思っております。皆様方の益々のご指導ご鞭撻を心よりお願い申し上げます。45周年を迎えてのご挨拶とさせていただきます。



## 双海ライオンズクラブ（1R-2Z）

## 40周年の回顧

会長 仲野 和

このたび、双海クラブの四十周年記念会を迎えることができました。これは三三六・A地区のライオンズ各位の、半世紀に近い四十年の長きにわたり、温かいご指導を賜りましたお陰でありまして、衷心より感謝の意を表する次第であります。

当クラブは、昭和四十三年に発足致しまして以来、アクティビティとして、人の命に関するアクティビティこそ重要であると認識、「献血」及び「青少年の健康の被害と犯罪の引金となる薬物乱用防止」に全力を傾注してまいりました。献血推進につきましては、知事表彰・大臣感謝状を頂き、一同感激致しました。

第二に前国際会長の方針「改革の精神こそが未来を開く鍵となる」を実施

一、ボランティアを志す人の入会し易いよう月会費を五千円としました。

二、事務員の在宅勤務、その他により二百四十万円の支出節減を行ないました。

最近では、国際本部の家族会員の推奨を考慮、当クラブに、四国初の家族会員が誕生しました。町長経験者夫人・議会議員関係者夫人であります。又、四十周年を機に今後の双海クラブの未来像を模索いたしております。

① ボランティア活動をめざす人を入会し易くする。それには、会費も最小限度とする。

② 以前と異なり、行政に福祉予算計上が可能なた時代となりました。クラブの意向をまとめ、提言、行政と共に地域に密着した奉仕に努力する。

どうかよろしくお願ひ申し上げます。





## 長尾ライオンズクラブ (4R-3Z)

# 結成45周年記念式典

会長 中川 宜興

長尾LCは1964年4月17日、高松玉藻LCをスポンサークラブとして結成、同年8月23日に認証式を行い香川県で11番目に産声をあげました。

その後世界最大の奉仕団体であるライオンズクラブ国際協会の一員として、たゆまぬ努力をしてきた伝統あるクラブです。

その間、国際協調の一環として、マレーシア国ジョータウンLC、タイ国ブケット・アングダマンシーLCと姉妹提携を結び、三木さぬきLCをエクステンションするなど数々の実績を残してきました。

11月1日には長尾LC結成45周年記念式典を開催し各界の名士やライオンズクラブ国際協会3361A地区ガバナー山地章靖様ほか地区役員の皆様、さらにはスポンサークラブの高松玉藻LC、姉妹提携クラブとして遠く海外からジョータウンLC会長L・オン・ホン・シン、ブケット・アングダマンシーLC会長L・フランコ・フェリーなど、多数の方々のご臨席を仰ぎ、ブラザークラブからも多くの会員の方々のご参加をいただき、盛大に挙行了しました。

私たちは、結成45周年を節目として、スローガンを「初心に帰ってウイサーブ」とし、ライオンズムの昂揚に精進し地域社会に奉仕をします。

ガバナーの掲げるキーワード「和の心」は共通の精神として共に行動していきたいと考えています。

結成45周年記念事業として大鉢山に国旗掲揚台を設置しました。ポールの高さは15尺、日章旗はタテ5尺、ヨコ6.2尺の堂々としたものです。

クラブとしても「祝・祭日には国旗を掲揚しよう」という運動を展開しており、掲揚台の設置により国旗掲揚機運も広がり家庭教育や学校教育にも役立つものと考えています。

大鉢山はエリアのほぼ中央に位置し円錐型の讃岐独特の山で見晴らしもよく地域の方々に親しまれ、最近運動のため登山をする方も多く見受けられるようになりました。

クラブが設置した国旗掲揚台が地域のシンボルなることは間違いないと思われ、地域の方からも注目をあびています。

その他、長尾LCとジョータウンLC、ブケット・アングダマンシーLCの合同アクティビティとして、さぬき市民病院へ患者搬送車を贈呈しました。

さぬき市民病院は、地域の中核病院となっており本格的な高齢化社会を迎え、患者さんを安全に無理なく搬送できると喜ばれています。

さらに姉妹提携の記念碑が並ぶ公園に枝垂れ桜の木の記念植樹やホームページも開設しました。

ホームページアドレス <http://www.14.ocn.ne.jp/~nagaolc/>



## 直島ライオンズクラブ (4R-2Z)

# 30周年を迎えて

会長 下津 善久

昭和53年に産声を上げた我がクラブも30周年を迎えることが出来ました。この間先輩の皆様方から頂きました暖かい励ましや、心温まるご配慮に対して心からお礼申し上げます。

今年のスローガンは、「地域と共に、元気をだしてウイサーブ」とし「自然・文化・環境の調和したまちづくり」による活性化を進めている直島町に協力するつもりです。地域と密着した奉仕として、直島町民総ぐるみの植樹「みどり創生in直島」に参加、町内美化のため空き缶パトロール、小学生を巻き込んだ「はたるの宿」づくり等、地域と共に環境問題に取り組んでいきたいと思えます。

10月26日の式典は、瀬戸内の自然と触れ合っていたり、メンバー一同で企画いたしました。

私ども直島ライオンズクラブに対して、今後ともなお一層のご指導、ご支援を賜りますようお願い申し上げます。



宮ノ浦港正面に看板設置

- |                      |
|----------------------|
| L C I F 献金 (\$20×全員) |
| 宮ノ浦港正面に看板設置          |
| 直島中学校にA E D 寄贈       |
| スポーツ少年団への助成          |
| 直島つつじ太鼓への助成          |
| 島内各イベントへの協賛          |

## 特別寄稿

## 四国の偉人 徳島県

友愛・互助・平和を求めて闘った徳島の偉人

## 賀川豊彦

(一八八八—一九六〇年)



「大衆の生活に即した新しい政治運動、社会運動、組合運動、農民運動、協同組合運動など、およそ運動と名のつくもの大部分は、賀川豊彦に源を発していると云っても、決して云いすぎではない。」「近代日本を代表する人物として、自信と誇りをもって世界に推挙しうる者を一人あげようと云うことになれば、私は少しもためらうことなく、賀川豊彦の名をあげるであろう。」(大宅壮一)

## 賀川豊彦と徳島

豊彦の父純一は板野郡大幸村(現・鳴門市大津町大幸)で代々造り酒屋を営む磯部家の三男として生まれ、板野郡東馬詰村(現・鳴門市大麻町東馬詰)の庄屋で地主でもあった賀川盛平の長女みちの婚養子となった。豊彦は一八八八(明治二二)年七月一日(戸籍上は二二日)に神戸市兵庫区庫島上町一〇八番屋敷で父 賀川純一、母 カメ(徳島の芸妓。控えめで美しい女性。残された手紙などからも優しい人柄と高い教養の持ち主だったことがわかる)の次男として生まれた。豊彦という名は阿波国一の宮、大麻比古神社の祭神である豊受姫尊と猿田彦尊から一字ずつもたらしたといわれる。父 純一の事業(神戸の回漕店)が順調だったこともあり、幸せな幼児期を過ごしていたが、四歳のとき相次ぐ両親の急逝でその幸せは崩れた。両親を失った豊彦は

姉の栄と共に板野郡東馬詰村(現鳴門市大麻町東馬詰)の賀川本家へ引き取られることになった。第二堀江尋常小学校(現在の鳴門市堀江南小学校)に入學した彼は勉学や家事の手伝いのかたわら、幼な友達と吉野川流域(旧吉野川)の素朴で美しい田園生活を楽しんだ。

## 破産と病苦、キリスト教とのであい

一九〇〇(明治三三)年四月、豊彦は旧制、名門徳島中学校(現在の県立城南高等学校)に入學した。徳島中学時代から旺盛な知識欲を持ち、ロシアの文豪トルストイ、イギリスの思想家ジョン・ラスキンやキリスト教社会主義者の著書を耽読し、非暴力・反戦・平和主義の思想を抱く。一九〇三(明治三六)年四月、兄の経営する会社(神戸賀川回漕店)が破産し、豊彦は叔父の森六郎宅に身を寄せることになる。悲嘆に暮



賀川豊彦(一八八八—一九六〇)



スラムで子どもたちと

れ絶望感に打ちのめされていたとき、二人のアメリカ人宣教師 ローガンとマヤスの影響を受けてキリスト教の洗礼を受けた。一九〇五(明治三八)年、明治学院高等部神学予科に入學した豊彦は叔父から学資を絶たれたが、マヤス師の援助を受けて学業を続けた。明治学院神学予科二年を修了後神戸神学校に移る。この頃、賀川の体は肺結核に深くむしばまれていた。結核に苦しみ、信仰への懐疑に懊悩しながら、一九〇九(明治四二)年「貧民問題を通じて、イエスの精神を発揮してみたい」と一念発起し、神戸葺合新川のスラム街に移住した。熱心に路傍伝道を始め数ヶ月後には救霊団を設立。無料宿泊所、一膳飯屋、病人の世話、生活資金の援助、生活相談等々、スラム住民の自立のためには何でもした。しかし救済活動には限界があり、壁にぶつかつた。アメリカの篤志家からの寄付が打ち切



られたのを機に、賀川は再勉強のため一九一四(大正三年)アメリカ合衆国プリンストン神学校・大学に留学した。

## 労働運動、農民運動から 災害救援活動とボランティア

一九一七(大正六)年帰国後、米国留学中の体験から貧困問題を解決する手段として労働組合運動を重視し友愛会関西労働同盟会を結成した。また労働者の生活安定を目的として神戸購買組合(現・コープこうべ)日本最大の生協)等を設立。働く人々の生活を安定させるために、生活協同組合の組織を広げることが重要であることを強調した。農村産業組合(現・農業協同組合)や信用組合、医療利用組合等も生活協同組合に属する。一九二二(大正一〇)年、賀川らが先頭で指導した神戸の三菱造船所(現・三菱重工業)・川崎造船所(現・川崎重工業)における大労働争議は官憲の力で制圧され、賀川の人格主義的な労働運動論は、左派運動家の指導力強化の下で退けられるに至った。一九二二(大正一〇)年には賀川の主旨によって日本農民組合が設立され、またたく間に全国的な大組織に成長した。一九二三(大正一二)九月一日の関東大震災時、いち早く被災状況を見て帰った賀川は、義捐金を集めるために大阪・神戸をはじめ中国・四国・九州を駆け巡り、一ヶ月足らずの間に講演会を約四〇回も開き、七五〇〇円(現在の四・五千万円)を

集め、千数百冊の英書を売るなどして義捐金とし、衣類・布団等大量の救援物資を送った。阪神・淡路大震災でボランティアの活動が大きく注目されるようになったが、賀川は一九二六(大正一五)年から既に「ボランティア」という言葉を使っており、彼こそボランティアの先駆けであった。スラムでの救済活動、関東大震災、奥丹後地震等、彼の働きやその時の記録は、時代を超えて今でも新鮮で学ぶべきことが多い。

一九二六年の労働農民党結成に当たっては、執行委員に就任したが同年末の左右分裂に際して党を脱退し、本来の宗教活動に専念するに至る。

## 教育活動と平和教育

労働学校、協同組合学校を開き、ボランティアで参加した優秀な講師陣の熱心な指導と生徒の向上心によって優れた人材をうみだした。農民福音学校では賀川の提唱する立体農業を身につけさせるとともに、土を愛し、人を愛し、神を愛する「三愛精神」の農民魂を教育した。また、早期教育と成長に合った教育の重要性に気づいた賀川は、学校就学前の幼児教育に取り組んだ。人間の成長には自然との関わりが欠かせないと考え、遊びを通じて自然から学ぶことを教えた。これは幼少期に幼な友達と吉野川流域(旧吉野川)の素朴で美しい田園生活を楽しんだことから体得した理論でもあった。平和の心を植えつけるには、子供への平和

教育が大切であると考え、平和学園を開き平和教育の実践にも取り組んだ。

賀川豊彦の生きた時代には、近代日本の主要な戦争が起こされた。昭和初年のファシズムには国際的連帯による反戦活動を展開した。

戦後、賀川は終戦処理内閣となった東久邇稔彦内閣の参与や勅撰「貴族院議員を務め」「一億層懺悔運動」に協力した。

日本社会党の創立にも参加した。マッカーサー元帥が厚木飛行場に降り立った日に合わせて日本人としてのメッセージを新聞に載せ、戦勝国が広い心と思いやりをもって、日本の文化国家建設に力を貸してくれるよう毅然とした態度で述べ、占領政策に不安を抱いていた国民に安心感を与えたともいえよう。戦後間もなく賀川は全国民が誤った戦争に対する反省に立って平和を守りぬかなければならないとして、世界連邦建設運動をおこした。核兵器廃絶・憲法擁護の運動も行い、



東久邇内閣の参与となった賀川(中央)、左端 東久邇首相

一九五五(昭和三十)年と一九五九(昭和三四)年の二度ノール平和賞



眉山の文学碑

候補者として推薦されたが一九六〇(昭和三五)年四月の死で受賞には至らなかった。賀川豊彦の生涯は世界平和を求め続けた生涯であったといえる。また一方では膨大な著作を出版した著作家でもあった。生涯の著作数は文学書、論説書、等三〇〇冊以上ともいわれる。その中でも自伝的小説『死線を越えて』三部作は総売上数四〇〇万部以上という驚異的なベストセラーとなった。徳島市の眉山山頂、標高二八〇メートルほどの頂上部道路傍に賀川豊彦の文学碑が建っている。

石碑には『死線を越えて』の序詞の一節が刻まれている。



鳴門市賀川豊彦記念館

### 参考資料

NPO法人賀川豊彦記念・鳴門友愛会  
徳島県鳴門市大麻町松字東山田  
鳴門市賀川豊彦記念館内

9 R I R C 東 條 昭 二 一  
(板野ライオンズクラブ)

### 336-A 地区会員現況

(入退会は累計・2008年10月31日現在)

R	Z	クラブ名	期首	入会	退会	10月末	R	Z	クラブ名	期首	入会	退会	10月末	R	Z	クラブ名	期首	入会	退会	10月末	
1	1	松山ホスト	49	0	0	49	1	1	高松	51	1	4	48	1	1	高知鷹城	56	2	3	55	
		久万	25	0	2	23			小豆島	43	1	2	42			室戸	31	1	0	32	
		松山東	44	2	2	44			小豆島東	28	0	0	28			高知鏡川	61	0	3	58	
		砥部	36	2	1	37			高松葵	34	0	3	31			高知南	33	0	0	33	
		松山つばき	49	1	0	50			高松南	33	0	0	33			高知よさこい	37	4	0	41	
		松山城山	39	2	1	40			高松愛	18	0	0	18			土佐国府	30	0	4	26	
	Z合計	242	7	6	243	Z合計	207	2	9	200	Z合計	248	7	10	245						
	2	2	松山道後	56	3	1	58	2	2	高松東	65	0	1	64	7	2	高知黒潮	73	2	2	73
			伊予	52	1	0	53			高松西	33	0	1	32			高知桂	59	1	0	60
			双海	13	0	0	13			直島	27	2	2	27			高知中央	41	1	1	41
松山西			48	1	1	48	八栗			36	0	1	35	高知安芸			32	1	0	33	
Z合計	287	13	7	293	Z合計	228	8	7	229	Z合計	242	5	5	242							
3	3	松山北	21	0	0	21	3	3	高松中央	24	3	1	26	3	3	高知黒潮	73	2	2	73	
		松山湯築	30	6	2	34			Z合計	228	8	7	229			高知中央	41	1	1	41	
		松山城東	30	2	3	29			Z合計	231	4	8	227			高知安芸	32	1	0	33	
		Z合計	289	10	4	295			Z合計	231	4	8	227			高知よさこい	37	4	0	41	
		北条	32	1	0	33			Z合計	231	4	8	227			土佐国府	30	0	4	26	
		松山中央	82	3	1	84			Z合計	231	4	8	227			Z合計	124	10	9	125	
Z合計	818	30	17	831	Z合計	231	4	8	227	R合計	614	22	24	612							
2	1	新居浜	64	6	3	67	4	4	高松玉藻	50	4	1	53	1	1	徳島	28	1	1	28	
		新居浜中央	45	0	1	44			高松栗林	67	0	0	67			小松島	28	0	1	27	
		新居浜別子	36	2	2	36			高松屋島	51	4	4	51			徳島南	47	0	0	47	
		新居浜ひうち	42	0	1	41			高松紫雲	58	0	1	57			徳島北	13	2	0	15	
	Z合計	187	8	7	188	Z合計	281	11	7	285	阿波勝浦	35	0	1	34						
	2	2	今治	60	0	0	60	1	1	高松空港	31	0	0	31	8	2	徳島すだち	40	2	2	40
			今治中央	65	0	0	65			Z合計	281	11	7	285			Z合計	191	5	5	191
			今治東	64	2	1	65			Z合計	281	11	7	285			徳島中央	35	0	0	35
			今治くろしま	62	1	0	63			Z合計	281	11	7	285			石井	23	1	1	23
			今治サーチング	30	0	4	26			Z合計	281	11	7	285			徳島城山	48	2	0	50
Z合計			281	3	5	279	Z合計			281	11	7	285	上板			38	2	0	40	
3	3	伊予三島	41	1	2	40	5	5	高松北	24	3	1	26	3	3	徳島吉野川	38	1	0	39	
		川之江	51	0	0	51			Z合計	281	11	7	285			土成	38	0	1	37	
		伊予土居	44	1	1	44			Z合計	281	11	7	285			Z合計	220	6	2	224	
		伊予三島法皇	39	2	0	41			Z合計	281	11	7	285			阿南	57	1	2	56	
Z合計	206	6	3	209	Z合計	281	11	7	285	日和佐	26	1	0	27							
4	4	西条	56	0	1	55	2	2	観音寺	38	0	0	38	3	3	徳島東	36	0	0	36	
		東予	44	3	3	44			善通寺	45	1	2	44			徳島マリノピア	50	1	1	50	
		伊予小松	16	1	1	16			多度津	40	0	0	40			阿南リパティ	31	0	2	29	
		西条石鏡	56	1	1	56			三豊	58	1	2	57			Z合計	200	3	5	198	
Z合計	172	5	6	171	Z合計	259	4	5	258	R合計	611	14	12	613							
R合計	846	22	21	847	R合計	579	16	10	585	R合計	611	14	12	613							
3	1	大洲	47	5	2	50	1	1	丸亀	95	1	2	94	1	1	徳島眉山	37	1	0	38	
		宇和	28	1	1	28			坂出	44	5	1	48			鳴門	61	0	0	61	
		伊予長浜	19	1	1	19			坂出白峰	52	4	0	56			藍住	46	0	1	45	
		内子	32	3	2	33			綾歌郡	25	0	0	25			板野	35	2	1	36	
	Z合計	154	11	7	158	丸亀京極	58	0	2	56	松茂徳島空港	25	0	0	25						
	2	2	八幡浜	42	2	0	44	1	1	うたづ	46	2	0	48	9	2	鳴門西	24	0	0	24
			三瓶	17	1	0	18			Z合計	320	12	5	327			北島	53	3	2	54
			伊方	37	2	2	37			Z合計	320	12	5	327			Z合計	281	6	4	283
			保内	32	0	0	32			Z合計	320	12	5	327			阿波池田	40	3	1	42
	Z合計	180	5	4	181	Z合計	320	12	5	327	脇	36	2	1	37						
3	3	宇和島	33	1	1	33	2	2	観音寺中央	36	1	1	36	3	3	三加茂	20	1	2	19	
		伊予吉田	31	2	2	31			須崎	52	0	2	50			半田	26	1	0	27	
		宇和島中央	30	2	1	31			土佐	53	0	1	52			Z合計	122	7	4	125	
		南宇和	30	1	2	29			伊野	31	0	1	30			徳島西	34	4	1	37	
		鬼北	32	1	2	31			佐川越知	30	0	0	30			鴨島	38	0	1	37	
		津島	24	0	4	20			中土佐	25	0	1	24			阿波	37	3	1	39	
Z合計	180	7	12	175	Z合計	191	0	5	186	徳島国府	23	1	0	24							
R合計	514	23	23	514	Z合計	196	10	7	199	Z合計	194	10	4	200							
地区合計																6179	190	169	6200		



①井川 弘忠 (57歳)  
② 2 R-3 Z川之江  
③2001年10月9日  
④2008年5月7日



①平井 貞 (81歳)  
② 7 R-2 Z高知桂  
③1987年1月23日  
④2008年5月2日



①松山 宏 (80歳)  
② 4 R-1 Z小豆島東  
③1966年5月3日  
④2008年5月1日

## 物故会員

2008年9月30日現在 (敬称略)

謹んでお悔やみ申し上げます

- ①氏名・享年
- ②LC名
- ③入会年月日
- ④没年月日



①増廣 庄平 (68歳)  
② 4 R-2 Z八栗  
③1981年11月26日  
④2008年7月3日



①寺田 紘一 (69歳)  
② 7 R-2 Z高知桂  
③1985年4月12日  
④2008年6月29日



①萩野 三郎 (75歳)  
② 7 R-2 Z高知黒潮  
③1981年2月12日  
④2008年6月19日



①前坂 和平 (83歳)  
② 8 R-2 Z土成  
③1997年3月23日  
④2008年5月26日



①河野 秀雄 (59歳)  
② 3 R-1 Z宇和  
③1986年10月  
④2008年5月21日



①藤本 延一 (91歳)  
② 4 R-4 Z高松紫雲  
③1971年10月13日  
④2008年8月17日



①立野 英雄 (71歳)  
② 2 R-1 Z新居浜別子  
③1989年2月18日  
④2008年8月13日



①増田 巖 (77歳)  
② 2 R-1 Z新居浜  
③1965年10月1日  
④2008年8月5日  
※献眼されました



①岡 修二 (75歳)  
② 4 R-4 Z高松屋島  
③1972年3月  
④2008年7月24日



①中川 勝雄 (67歳)  
② 9 R-3 Z徳島西  
③1993年5月8日  
④2008年7月21日



①樋口 佐一 (97歳)  
② 4 R-1 Z高松  
③1966年3月23日  
④2008年9月29日



①阿蘇 弘 (76歳)  
② 2 R-4 Z西条石鎧  
③1991年2月12日  
④2008年9月27日



①吉本 奨 (66歳)  
② 5 R-1 Z丸亀京極  
③1994年11月15日  
④2008年9月26日



①平岡善四郎 (77歳)  
② 1 R-3 Z山山白鷺  
③1992年3月  
④2008年8月28日



①金村 一成 (73歳)  
② 8 R-1 Z小松島  
③1967年1月10日  
④2008年8月23日

### ◆編集後記◆



このたび、地区誌の編集委員という大役を、おおせつかりました。普通寺ライオンズクラブで、PR会報誌の編集や、同人誌の編集担当をしておりますので、少しはお役に立てるかなあと、軽い気持ちで引き受けましたが、地区誌と同人誌とは、大違い。宮本委員長以下七名は、会報編集に関して才能のある方ばかりなので、わたしは小さくなっておりません。

本誌の第一回目は、地区役員のご挨拶が大半でしたので、今回の第二号は、少し趣向をこらしてみたい。

まず、各クラブから送っていただいているPR会報誌を拝読し、そこに掲載されている記事に注目しました。そして、その中で各委員から推荐された記事をピックアップ取材し、会員の皆様に紹介させていただくページを作りました。また、ユニークなメンバーを紹介するコーナーも、あればいいなあと考えております。

われわれスタッフ一同は、新しいことに挑戦し、新鮮味のある地区誌を、お届けできるようがんばっております。

へ地区誌編集委員 原 卓二



第55回 **ライオンズクラブ国際協会336-A地区**  
**地区年次大会**

2009.4/11sat 12sun

場所/坂出グランドホテル・坂出市立体育館

“夢無限  
海橋とUDONの都でWe Serve”



2008～2009年  
ライオンズクラブ国際協会  
336-A地区 坂出キャビネット事務局



**We Serve**

〒762-0053 香川県坂出市西大浜北1-2-33 坂出グランドホテル南棟1F  
TEL 0877-59-0081 FAX 0877-59-0390  
E-mail : sakaide\_c@lc336a.jp  
URL : <http://www.lc336a.gr.jp/>